

1. 特集

コロナ禍を経てのこれからの観光

今回は、新型コロナウイルス感染症禍における人々の観光旅行に対する意識や行動の変化、及び居住都道府県内における宿泊観光旅行の実態を調査した。加えて、コロナ禍以降増加した「非対面型サービスの利用意向」や「旅行先での交流の意向」、「再訪問希望の理由」、「ファンである地域と理由」について新規設問を追加し、コロナ禍後の観光旅行に対する人々の意識や実態を分析した。

◆結果のポイント◆

1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

各種割引キャンペーンを利用した割合は半数近くに。
全国旅行支援の実施もあり、昨年度に比べ大きく増加。

2. コロナ禍での旅行に対する思いの変化

「今まで以上に旅行に行きたくなくなった」は3割弱で微減。
一方、「特に変わらない」は半数近くを占め、経年で増加傾向。

3. 居住都道府県内における宿泊観光旅行

居住都道府県内での宿泊観光旅行に参加した理由は、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、居住都道府県外への移動がはばかれたから」が最多。
居住都道府県の宿泊観光旅行の2020年以降の実施率、旅行先としての魅力度、参加希望のいずれも「北海道」が最も高い。

4. 非対面型サービスの利用意向

非対面型サービス利用意向は、チケットの購入や決済の場面で比較的高い。

5. 旅行先における地元の方との交流の意向

旅行先での交流意向は、「飲食店や土産物店などの地元店員から地域のおすすめ情報を聞きたい」が最多。

6. 再訪問希望の理由

再訪問希望の理由は、「食べ物」が最多で、「観光施設」、「自然」が続く。

7. 地域のファンである理由

地域のファンである理由は、「自然」が最多で、「観光施設」、「歴史・文化財」、「食」が続く。

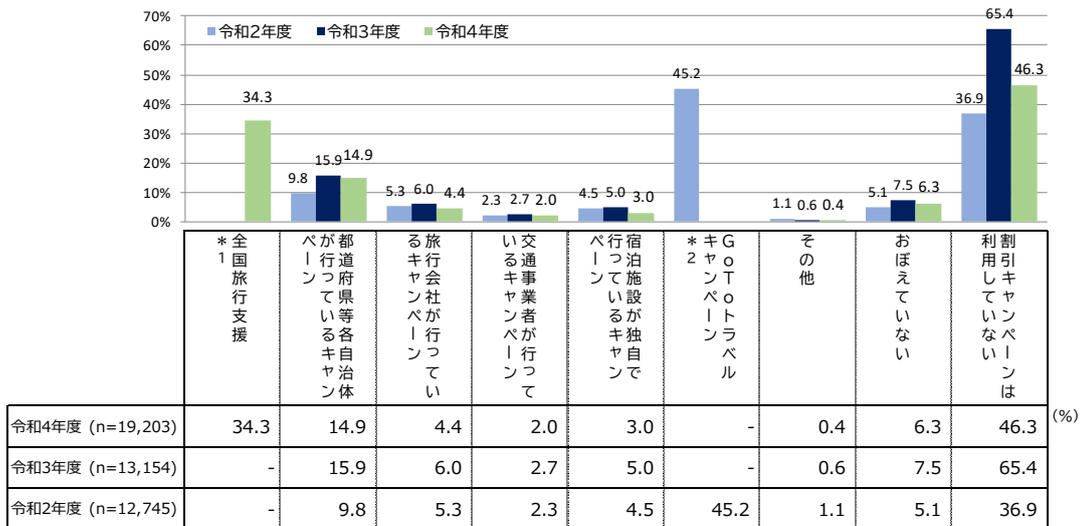
1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月までの1年間）の国内宿泊観光旅行において、各種割引キャンペーンを利用した割合（以下、割引キャンペーン利用率）は47.4%であり、その内訳は「全国旅行支援」の利用率が34.3%と最も高く、次いで「都道府県等各自体が行っているキャンペーン」が14.9%、「旅行会社が行っているキャンペーン」が4.4%と続く。一方、「割引キャンペーンは利用していない」は46.3%となっている。

割引キャンペーン利用率を令和3年度及び令和2年度の調査結果と比較すると、全国的な割引キャンペーンが実施されなかった令和3年度（27.1%）からは、20.3ポイント増加しているものの、Go Toトラベルキャンペーンが実施された令和2年度（58.0%）からは、10.6ポイント減少している。

全国的な割引キャンペーンの実施が割引キャンペーン利用率を上げる要因の一つとなっているものの、実施のタイミングや期間、制度設計等でその効果に違いがでている。

図表1-1:各種割引キャンペーンの利用状況(複数回答)



※n数：回答者全員の総宿泊観光旅行回数

* 1 「全国旅行支援」の選択肢は令和4年度のみ

* 2 「Go To トラベルキャンペーン」の選択肢は令和2年度のみ

居住都道府県別にみると、「全国旅行支援」の利用率は佐賀県（53.3%）と長崎県（51.5%）で5割台と高い。令和2年度において「Go Toトラベルキャンペーン」の利用率の高かった山梨県、和歌山県の「全国旅行支援」の利用率は比較的低い結果となっている。

また、「都道府県等各自体が行っているキャンペーン」は群馬県（29.4%）や青森県、鹿児島県（ともに26.4%）、岩手県（26.2%）、熊本県（26.0%）、新潟県（25.3%）の利用率が全体より10ポイント以上高い。特に、青森県、岩手県では、令和2年度、3年度にお

いても全体を10ポイント以上上回っており、継続して高い利用率となっている。

一方、岡山県と福井県は「割引キャンペーンは利用していない」の割合がそれぞれ59.7%、56.5%と過半数に達しており、全体より10ポイント以上高い。

令和4年度においては、全体を10ポイント上回る、あるいは下回る都道府県は、令和2、3年度と比較して少なくなっており、各種割引キャンペーンが国、都道府県等で行われていくなか、居住都道府県での利用率の差異は小さくなっていることがうかがえる。

図表1-2: 居住都道府県別 割引キャンペーンの利用状況(複数回答)

R4年度		全国旅行支援	行都道府県等各自自治体が行っているキャンペーン	キ旅行会社が行っているキャンペーン	キ交通事業者が行っているキャンペーン	宿泊施設が独自で行っているキャンペーン	その他	おぼえていない	割引キャンペーンは利用していない	R3年度		し割引キャンペーンは利用していない	R2年度		トラベルT.O.キャンペーン	行都道府県等各自自治体が行っているキャンペーン	し割引キャンペーンは利用していない
全体	(n=19,203)	34.3	14.9	4.4	2.0	3.0	0.4	6.3	46.3	(n=13,154)	15.9	65.4	(n=12,745)	45.2	9.8	36.9	(%)
北海道	(n=782)	34.3	17.8	4.6	1.7	5.6	0.5	8.1	39.8	(n=569)	24.8	56.9	(n=560)	39.8	12.3	41.1	
青森県	(n=144)	35.4	26.4	6.3	4.9	1.4	0.7	3.5	45.1	(n=118)	33.1	52.5	(n=91)	45.1	34.1	18.7	
岩手県	(n=149)	35.6	26.2	4.7	2.0	2.0	0.0	3.4	39.6	(n=133)	46.6	45.1	(n=121)	43.8	40.5	29.8	
宮城県	(n=327)	23.5	14.7	2.4	2.8	3.1	0.0	5.8	56.0	(n=214)	26.2	59.3	(n=279)	39.8	4.7	46.2	
秋田県	(n=106)	26.4	23.6	2.8	0.0	1.9	0.9	11.3	40.6	(n=81)	37.0	30.9	(n=89)	49.4	52.8	18.0	
山形県	(n=145)	35.2	9.7	0.0	2.8	6.2	0.0	6.2	44.8	(n=84)	48.8	36.9	(n=96)	38.5	19.8	32.3	
福島県	(n=291)	36.4	20.6	6.5	2.4	7.2	0.3	8.6	37.1	(n=146)	28.8	55.5	(n=150)	37.3	11.3	39.3	
茨城県	(n=397)	34.8	12.6	4.0	1.0	1.5	0.0	3.3	53.4	(n=288)	13.2	72.9	(n=327)	49.8	5.5	33.9	
栃木県	(n=233)	35.6	15.5	4.3	1.7	3.4	0.0	10.7	39.9	(n=229)	18.3	62.4	(n=208)	38.0	7.2	33.2	
群馬県	(n=238)	28.6	29.4	8.8	2.5	1.3	0.4	2.1	43.7	(n=182)	31.3	54.9	(n=219)	50.2	16.9	27.4	
埼玉県	(n=1,112)	31.5	13.7	5.9	1.4	2.0	1.6	6.8	47.8	(n=738)	6.5	73.2	(n=757)	48.3	5.8	36.5	
千葉県	(n=1,033)	34.9	14.7	5.3	1.8	2.2	0.4	5.5	46.6	(n=638)	7.7	71.6	(n=632)	46.8	6.6	37.8	
東京都	(n=2,567)	29.8	9.6	4.5	2.5	3.1	0.5	6.9	51.8	(n=1,841)	6.7	75.8	(n=1,478)	40.8	6.4	42.2	
神奈川県	(n=1,607)	35.5	14.1	4.2	2.0	2.9	0.4	6.0	45.8	(n=1,112)	11.3	68.2	(n=1,080)	50.6	7.6	36.3	
新潟県	(n=304)	38.2	25.3	0.3	0.7	5.6	0.0	3.6	41.8	(n=195)	47.2	39.0	(n=207)	47.3	14.0	34.8	
富山県	(n=146)	40.4	21.9	6.2	2.7	1.4	0.7	0.7	46.6	(n=80)	47.5	42.5	(n=106)	36.8	20.8	38.7	
石川県	(n=195)	36.9	16.9	2.1	0.0	0.5	0.0	4.1	54.9	(n=99)	47.5	32.3	(n=98)	32.7	29.6	34.7	
福井県	(n=92)	28.3	14.1	9.8	2.2	0.0	0.0	2.2	56.5	(n=76)	23.7	52.6	(n=70)	27.1	12.9	42.9	
山梨県	(n=160)	31.3	2.5	0.6	0.0	2.5	0.0	14.4	51.9	(n=102)	18.6	60.8	(n=56)	58.9	8.9	30.4	
長野県	(n=331)	33.8	9.4	1.8	0.3	0.9	0.0	6.3	53.5	(n=217)	24.4	52.1	(n=168)	47.6	16.1	31.5	
岐阜県	(n=336)	33.6	17.0	6.3	3.3	3.9	1.5	6.5	43.8	(n=173)	19.1	54.9	(n=172)	47.1	7.6	34.3	
静岡県	(n=546)	31.5	13.4	3.5	1.5	2.4	0.5	4.4	52.2	(n=421)	21.6	64.1	(n=330)	42.7	14.8	32.4	
愛知県	(n=1,238)	35.1	11.5	3.6	3.1	3.3	0.4	5.8	46.0	(n=871)	10.9	67.4	(n=899)	45.7	6.8	39.2	
三重県	(n=274)	42.7	14.6	1.8	1.8	3.3	0.0	5.1	38.0	(n=169)	24.9	56.2	(n=185)	44.3	5.4	44.9	
滋賀県	(n=286)	37.4	15.4	4.9	1.7	2.4	0.0	8.0	38.5	(n=177)	11.3	64.4	(n=180)	49.4	7.8	33.9	
京都府	(n=427)	32.6	17.1	4.0	0.2	1.2	0.0	5.9	50.6	(n=237)	14.3	69.2	(n=272)	42.3	5.9	41.2	
大阪府	(n=1,425)	31.2	12.0	4.3	2.2	3.8	0.1	6.7	48.2	(n=1,064)	7.8	76.3	(n=1,023)	48.1	5.3	34.2	
兵庫県	(n=792)	37.6	19.4	4.5	2.3	1.8	0.6	6.8	40.3	(n=622)	16.6	64.6	(n=603)	50.2	5.1	35.3	
奈良県	(n=184)	41.8	17.9	3.3	1.1	1.6	0.5	7.6	45.1	(n=181)	8.3	70.2	(n=164)	53.7	18.3	26.8	
和歌山県	(n=129)	28.7	8.5	0.8	1.6	0.8	0.8	20.2	44.2	(n=94)	17.0	59.6	(n=92)	55.4	10.9	33.7	
鳥取県	(n=71)	36.6	14.1	0.0	0.0	1.4	0.0	4.2	47.9	(n=30)	30.0	66.7	(n=51)	43.1	13.7	25.5	
島根県	(n=75)	30.7	17.3	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	48.0	(n=32)	28.1	37.5	(n=42)	52.4	35.7	14.3	
岡山県	(n=216)	24.5	13.0	2.8	0.9	0.5	0.0	4.2	59.7	(n=157)	19.7	69.4	(n=150)	44.7	14.7	35.3	
広島県	(n=327)	38.5	11.9	3.4	2.1	2.8	0.3	4.3	48.0	(n=221)	10.0	68.3	(n=278)	35.3	9.7	43.5	
山口県	(n=179)	40.8	15.1	12.3	6.1	3.9	0.0	2.8	43.0	(n=88)	33.0	59.1	(n=129)	44.2	19.4	46.5	
徳島県	(n=84)	36.9	16.7	2.4	3.6	3.6	0.0	2.4	47.6	(n=64)	7.8	75.0	(n=65)	23.1	15.4	52.3	
香川県	(n=137)	39.4	13.9	2.9	2.9	1.5	0.7	6.6	43.8	(n=60)	18.3	70.0	(n=55)	40.0	3.6	29.1	
愛媛県	(n=122)	36.9	18.9	7.4	0.8	1.6	0.0	2.5	50.8	(n=75)	5.3	77.3	(n=71)	42.3	16.9	36.6	
高知県	(n=97)	33.0	24.7	3.1	1.0	3.1	1.0	6.2	45.4	(n=60)	16.7	56.7	(n=62)	38.7	12.9	27.4	
福岡県	(n=785)	39.0	15.8	4.3	2.2	3.2	0.1	8.7	39.1	(n=514)	16.7	60.9	(n=497)	50.5	9.7	35.8	
佐賀県	(n=92)	53.3	18.5	3.3	0.0	16.3	1.1	1.1	39.1	(n=52)	34.6	36.5	(n=65)	49.2	12.3	27.7	
長崎県	(n=196)	51.5	24.0	9.7	1.0	2.0	0.0	4.1	35.7	(n=115)	35.7	39.1	(n=118)	47.5	22.9	24.6	
熊本県	(n=204)	43.6	26.0	2.9	1.5	4.4	0.0	3.9	36.3	(n=179)	24.0	60.9	(n=137)	43.8	12.4	33.6	
大分県	(n=132)	39.4	15.9	0.8	0.8	1.5	0.0	7.6	39.4	(n=76)	28.9	63.2	(n=84)	45.2	11.9	44.0	
宮崎県	(n=137)	35.0	14.6	5.8	1.5	2.2	0.0	11.7	41.6	(n=87)	24.1	43.7	(n=80)	32.5	8.8	45.0	
鹿児島県	(n=163)	38.7	26.4	9.8	4.9	3.7	0.0	3.1	39.3	(n=98)	31.6	58.2	(n=99)	36.4	6.1	44.4	
沖縄県	(n=190)	36.8	24.2	3.7	2.6	3.2	1.1	6.8	38.9	(n=95)	12.6	62.1	(n=50)	44.0	16.0	30.0	

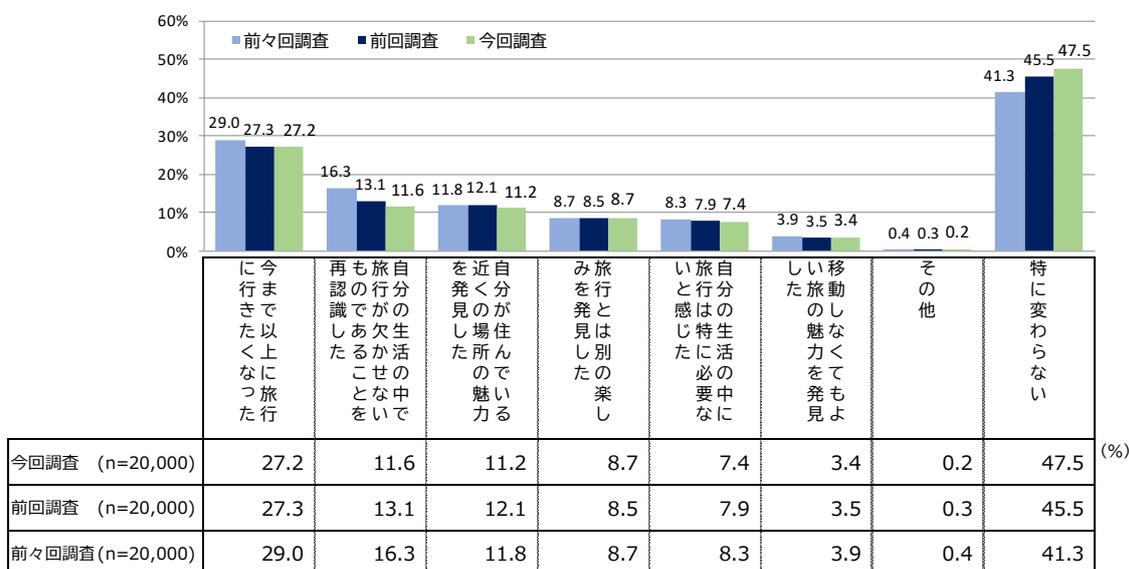
※n数：回答者全員の総宿泊観光旅行回数

2. コロナ禍での旅行に対する思いの変化

2020年からの3年間、コロナ禍において移動が制限された中で旅行に対する思いの変化や気づきがあったか尋ねたところ、「今まで以上に旅行に行きたくなった」が27.2%、「自分の生活の中で旅行が欠かせないものであることを再認識した」が11.6%、「自分が住んでいる近くの場所の魅力を発見した」が11.2%となっている。一方、「特に変わらない」は47.5%と半数近くを占める。

前回調査及び前々回調査と比較すると、「自分の生活の中で旅行が欠かせないものであることを再認識した」は年々減少し、「特に変わらない」は増加している。

図表1-3: コロナ禍での旅行に対する思いの変化(複数回答)



※選択肢は今回調査の割合で「その他」「特に変わらない」を除く降順に並び替え

もともとの旅行に対する好み別に、今回調査のコロナ禍での観光旅行に対する思いの変化をみると、旅行好きの層では「今まで以上に旅行に行きたくなった」(39.5%)や「自分の生活の中で旅行が欠かせないものであることを再認識した」(17.0%)の割合が高いが、その他の層では、「特に変わらない」が6割以上を占めている。

一方、旅行がきらい・どちらともいえない層では、「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」がそれぞれ22.3%、14.6%と全体に比べ高い割合となっており、前回調査同様、旅行への関心が薄い人たちの旅行離れがコロナ禍によって進んでいることがうかがえる。

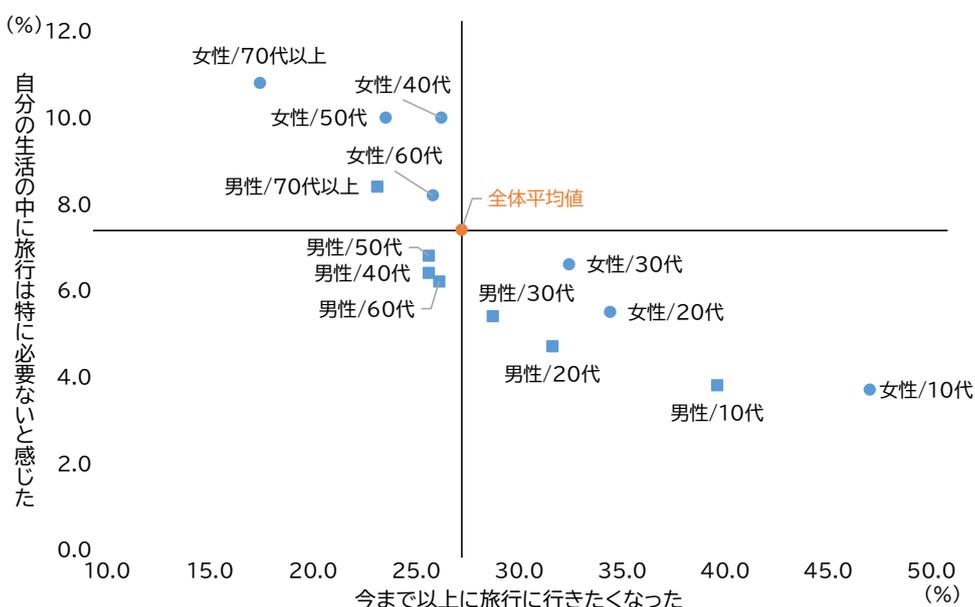
図表1-4: 旅行に対する好み別コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化(複数回答)

	全体より+10pt以上	全体より+5pt以上	全体より-5pt以上	全体より-10pt以上
全体 (n=20,000)	27.2	11.6	11.2	3.4
旅行好き (n=12,751)	39.5	17.0	14.7	4.2
旅行がきらい (n=1,351)	4.3	2.7	2.2	1.3
どちらともいえない (n=5,479)	5.8	1.9	6.1	2.2
わからない (n=419)	5.3	0.7	1.9	1.7

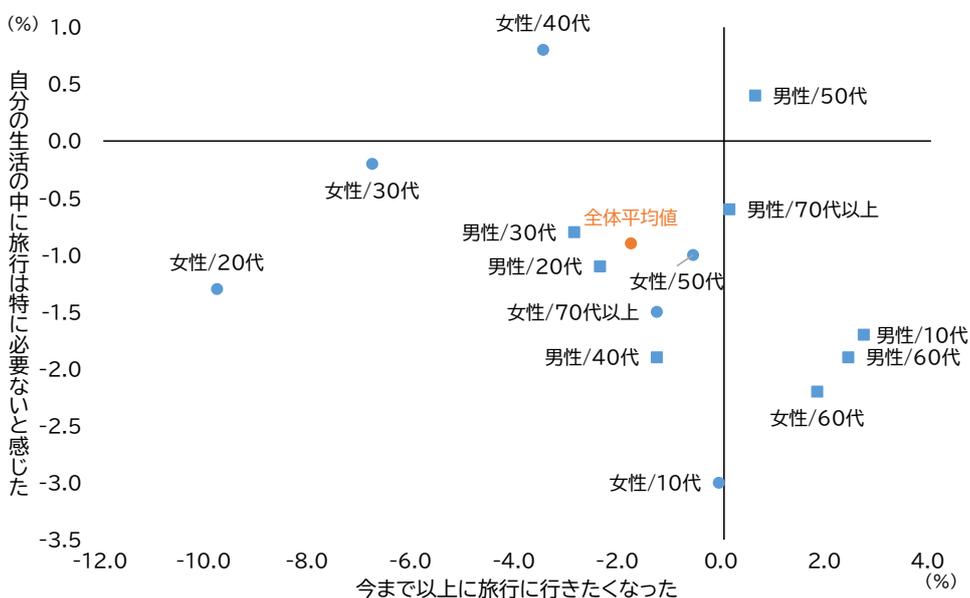
性・年代別に、「今まで以上に旅行に行きたくなった」を横軸に、「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」を縦軸にプロットしてみると、男女ともに、若い年代ほど「今まで以上に旅行に行きたくなった」割合が高く、年代が上がるにつれて、「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」割合が高くなる傾向にある。また、男女の各年代の分散をみると、女性の方が年代によるばらつきが大きく、よりその傾向が顕著となっている。

また、それぞれの前々回調査からの増減をみると、男性 10 代・60 代、女性 60 代において「今まで以上に旅行に行きたくなった」割合が増加している。一方、「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」割合は、男性 50 代、女性 40 代において増加しており、あわせて女性 40 代においては、「今まで以上に旅行に行きたくなった」割合が減少している。

図表 1-5: 性・年代別「今まで以上に旅行に行きたくなった」×「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」



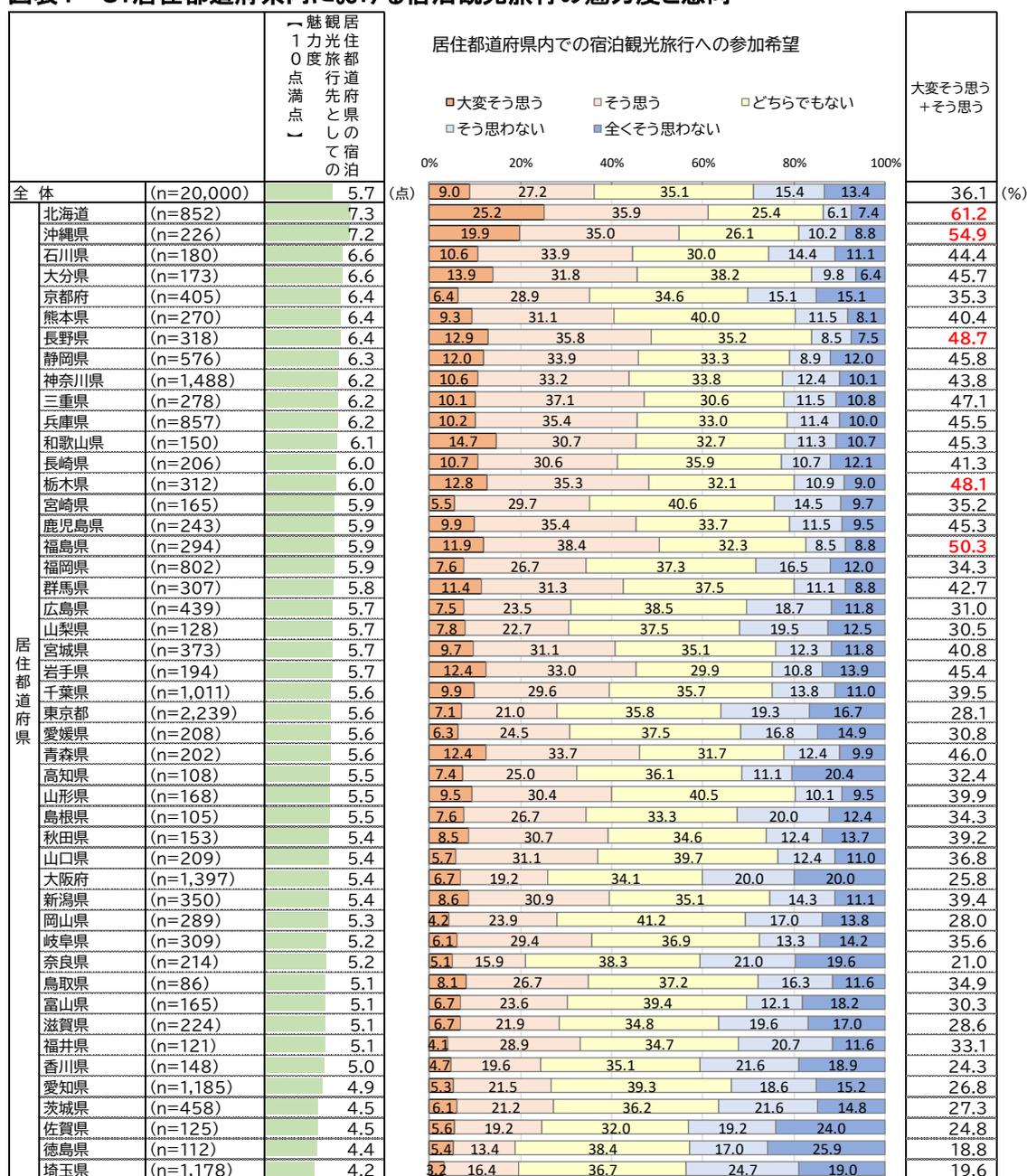
図表 1-6: 性・年代別「今まで以上に旅行に行きたくなった」×「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」
[今回調査 - 前々回調査]



居住都道府県内の宿泊観光旅行先としての魅力度を10点満点で尋ねたところ、「北海道」が7.3点と最も高く、次いで「沖縄県」が7.2点、以下「石川県」、「大分県」（ともに6.6点）、「京都府」、「熊本県」、「長野県」（ともに6.4点）と続いている。

居住都道府県内での宿泊観光旅行への参加希望率を「大変そう思う」と「そう思う」を合わせた割合でみると、「北海道」が61.2%と最も高く、次いで「沖縄県」（54.9%）、「福島県」（50.3%）、「長野県」（48.7%）、「栃木県」（48.1%）と続いている。

図表1-8:居住都道府県内における宿泊観光旅行の魅力度と意向



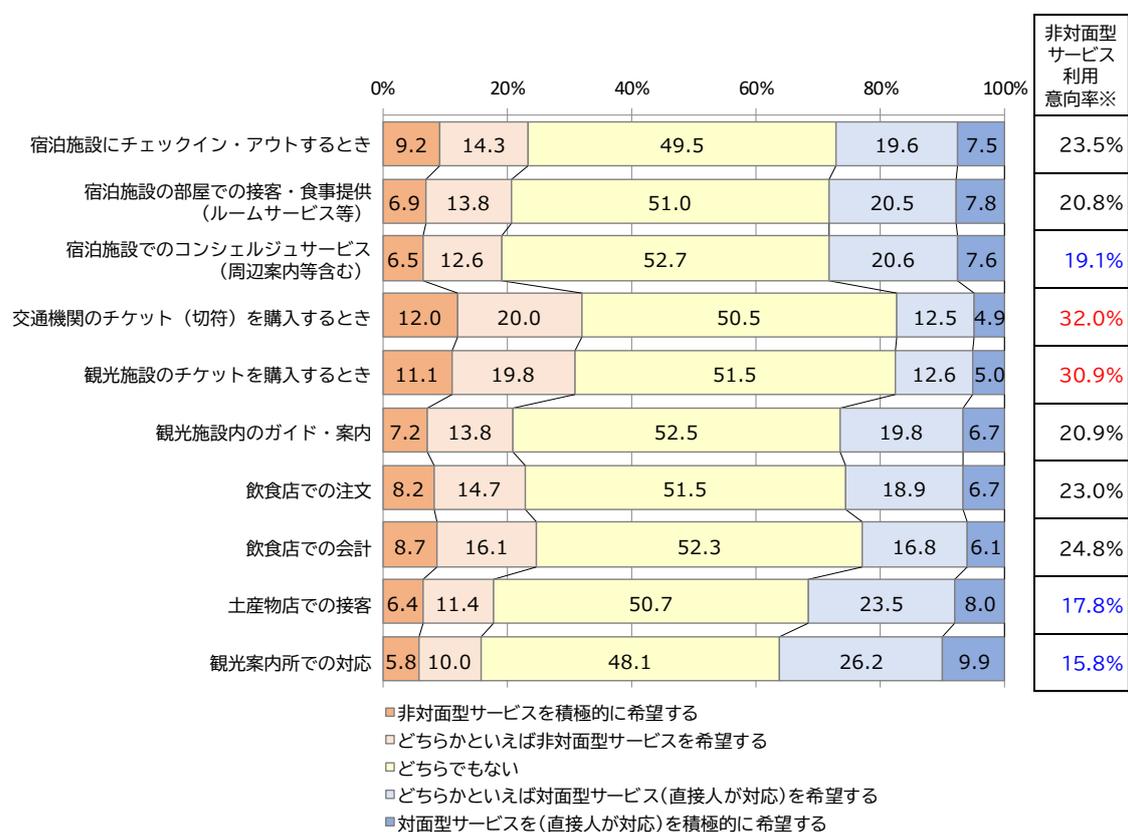
※『居住都道府県の宿泊観光旅行先としての魅力度』について点数が高い居住都道府県順に並び替えて掲載
 ※『居住都道府県内での宿泊観光旅行への参加希望』について「大変そう思う」+「そう思う」の割合が高い上位5道県を赤字

4. 非対面型サービスの利用意向

旅行先での非対面型サービスについて、「非対面型サービスを積極的に希望する」と「どちらかといえば非対面型サービスを希望する」を合わせた『非対面型サービス利用意向率』をみると、「交通機関のチケット（切符）を購入するとき」（32.0%）と「観光施設のチケットを購入するとき」（30.9%）が30%以上と高い。一方、「観光案内所での対応」（15.8%）、「土産物店での接客」（17.8%）、「宿泊施設でのコンシェルジュサービス（周辺案内等含む）」（19.1%）はともに20%以下となっている。

購入、決済シーンでの非対面型サービスの浸透がうかがえる一方で、案内や接客など、旅行者からの問い合わせ、あるいは対話が必要な場面での非対面型サービスの利用意向はいまだ低くなっている。

図表1-9: 非対面型サービスの利用意向 (n=20,000)



『非対面型サービス利用意向率』を性年代別でみると、男女ともに10代、20代の若年層で非対面型サービスの利用意向率が高い一方、年代が高くなるほど利用意向率は低くなる傾向にある。特に女性の20代において、「該当なし」以外の10項目中9項目で利用意向率は全体より10ポイント以上高く、非対面型サービスへの利用意向の高さが顕著である。一方で、60代、70代以上の層では男女ともに利用意向率が1割台以下の項目が大半を占めているが、「交通機関のチケット（切符）を購入するとき」、「観光施設のチケットを購入するとき」の利用意向率はともに2割台と、他の項目に比べやや高くなっている。

図表1-10: 性年代別非対面型サービスの利用率

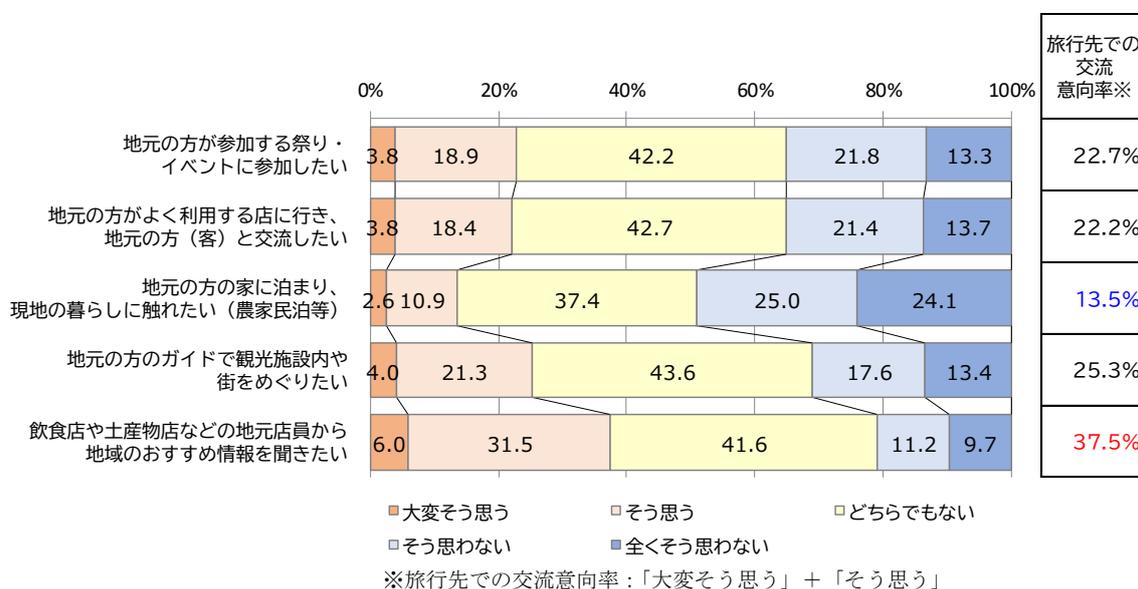
		宿泊施設にチェックイン・アウトするとき	宿泊施設でのサービス提供（ルームサービス等）	客泊施設の部屋での接	案内等含む）	宿泊施設でのコンシェルジュサービス（周辺エ	き（切符）を購入するとき	交通機関のチケットを購入するとき	観光施設のチケットを購入するとき	案内観光施設内のガイド・	飲食店での注文	飲食店での会計	土産物店での接客	観光案内所での対応	該当なし
全体	(n=20,000)	23.5	20.8	19.1	32.0	30.9	20.9	23.0	24.8	17.8	15.8	53.5	(%)		
性・年代	男性計	(n=9,916)	22.8	19.4	18.1	30.1	28.5	19.8	20.9	22.8	16.9	15.5	54.7		
	10代	(n=599)	38.4	26.7	28.0	41.2	39.4	27.0	34.6	36.2	25.2	24.2	36.4		
	20代	(n=1,205)	33.1	28.8	25.9	36.3	35.3	26.6	29.5	31.4	24.5	23.2	45.7		
	30代	(n=1,420)	30.8	25.9	22.9	36.2	33.7	24.4	28.2	28.5	23.7	20.4	47.3		
	40代	(n=1,881)	24.1	19.8	17.8	30.5	28.6	20.9	21.5	23.2	17.1	16.1	54.4		
	50代	(n=1,698)	19.5	15.8	14.5	26.3	25.1	16.5	17.3	19.2	13.7	13.3	60.4		
	60代	(n=1,569)	14.9	14.0	13.6	25.8	24.0	15.5	14.9	17.5	11.7	11.0	61.2		
	70代以上	(n=1,544)	11.1	12.3	12.9	23.6	22.2	14.4	11.3	14.6	9.8	8.2	63.1		
	女性計	(n=10,084)	24.2	22.1	20.1	33.9	33.4	22.0	25.0	26.7	18.8	16.0	52.2		
	10代	(n=570)	37.4	31.8	28.4	45.8	42.6	28.9	41.2	38.2	28.6	24.6	38.2		
	20代	(n=1,171)	39.4	32.9	30.4	47.5	44.2	30.5	37.4	38.6	29.8	25.8	38.4		
	30代	(n=1,374)	30.7	25.0	22.6	39.3	37.9	25.0	31.1	32.0	24.0	19.9	47.5		
	40代	(n=1,829)	27.1	22.9	20.7	35.6	35.9	23.5	26.0	27.7	19.4	16.3	50.0		
	50代	(n=1,688)	21.1	19.8	18.1	30.6	30.5	19.7	20.8	22.5	15.4	13.9	56.4		
60代	(n=1,641)	17.2	17.6	16.1	27.9	27.2	18.8	18.2	21.3	13.7	11.7	59.4			
70代以上	(n=1,811)	11.5	15.5	13.8	23.9	25.6	15.5	16.2	19.1	11.5	9.8	61.0			

※「該当なし」は、すべての項目において、「非対面型サービスを積極的に希望する」、あるいは「どちらかといえば非対面型サービスを希望する」のいずれにも回答していない割合

5. 旅行先における地元の方との交流の意向

旅行先での地元の方との交流の意向について、「大変そう思う」と「そう思う」を合わせた『旅行先での交流意向率』をみると、「飲食店や土産物店などの地元店員から地域のおすすめ情報を聞きたい」が37.5%と最も高い。次いで「地元の方のガイドで観光施設内や街をめぐりたい」が25.3%、「地元の方が参加する祭り・イベントに参加したい」が22.7%、「地元の方がよく利用する店に行き、地元の方（客）と交流したい」が22.2%となっており、「地元の方の家に泊まり、現地の暮らしに触れたい（農家民泊等）」は13.5%と1割台にとどまっている。

図表1-11：旅行先における地元の方との交流の意向（n=20,000）

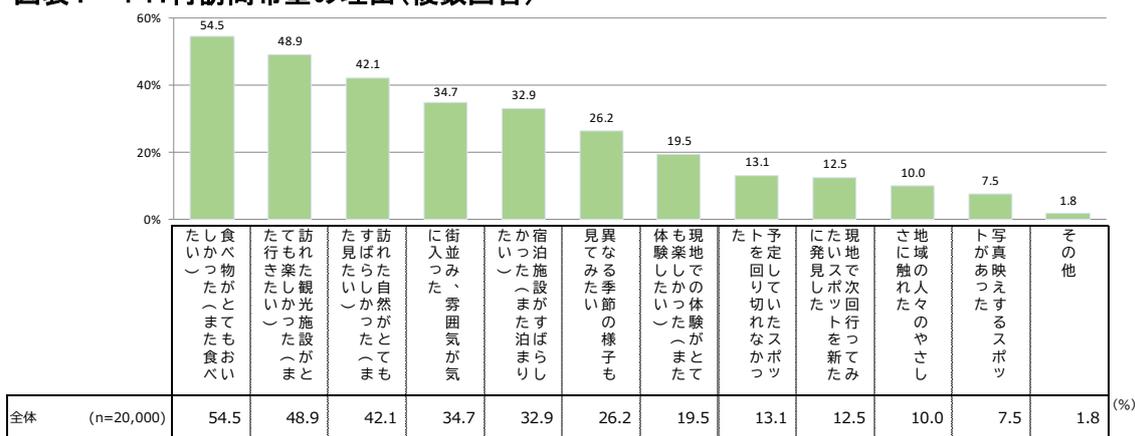


『旅行先での交流意向率』を性年代別にみると、男女ともに10代の交流意向率が他の年齢層に比べ高い傾向にあり、特に男性10代では「地元の方が参加する祭り・イベントに参加したい」（39.7%）など、4項目で全体よりも10ポイント以上高い。一方、「飲食店や土産物店などの地元店員から地域のおすすめ情報を聞きたい」は、男性70代以上、女性60代、70代以上で交流意向率が4割台と、全体と比べて5ポイント以上高くなっている。

6. 再訪問希望の理由

初めて観光旅行に行った地域で再訪問を希望する理由としては、「食べ物がとてもおいしかった（また食べたい）」（54.5%）が最も多く過半数となっている。次いで「訪れた観光施設がとても楽しかった（また行きたい）」（48.9%）、「訪れた自然がとてもすばらしかった（また見たい）」（42.1%）が4割台、「街並み、雰囲気が気に入った」（34.7%）、「宿泊施設がすばらしかった（また泊まりたい）」（32.9%）が3割台で続いている。

図表1-14:再訪問希望の理由(複数回答)



※選択肢は「その他」を除く降順で並び替え

性年代別でみると、全体で最も割合の高い「食べ物がとてもおいしかった（また食べたい）」については、男性に比べ女性の割合が高い傾向にあり、特に女性40～60代で高くなっている。「訪れた観光施設がとても楽しかった（また行きたい）」についても、女性の方が高い傾向にあり、男女10代、女性30～50代で高くなっている。「訪れた自然がとてもすばらしかった（また見たい）」は男女ともに60代、70代以上で全体より5ポイント以上高い一方、10代、20代では全体より10ポイント以上低い。

図表1-15:性年代別再訪問希望の理由(複数回答)

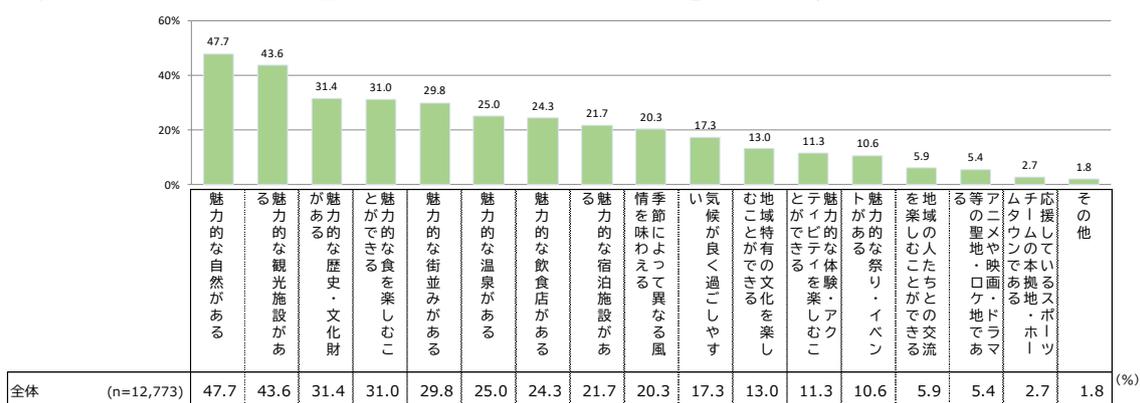
性年代	理由	全体より+10pt以上				全体より+5pt以上				全体より-5pt以上				全体より-10pt以上				
		全体	男性	女性	その他	全体	男性	女性	その他	全体	男性	女性	その他	全体	男性	女性	その他	
全体	(n=20,000)	54.5	48.9	42.1	34.7	32.9	26.2	19.5	13.1	12.5	10.0	7.5	1.8					
性年代	男性計	(n=9,916)	50.8	46.1	40.8	30.2	29.3	24.8	18.4	12.1	11.2	9.3	7.5	2.5				
	10代	(n=599)	41.9	57.4	30.2	21.9	21.2	23.0	22.9	10.4	9.7	7.8	11.2	1.0				
	20代	(n=1,205)	39.1	44.7	28.1	21.7	21.0	24.9	18.9	10.5	10.1	7.3	8.8	2.7				
	30代	(n=1,420)	47.4	46.3	33.9	26.4	24.4	23.8	19.1	12.2	12.2	10.0	7.0	1.6				
	40代	(n=1,881)	51.6	45.6	36.8	31.3	26.2	23.4	19.8	13.1	13.1	9.2	7.1	2.1				
	50代	(n=1,698)	54.4	45.7	39.5	30.4	28.3	22.1	18.9	11.1	11.3	8.5	5.8	3.9				
	60代	(n=1,569)	56.5	45.9	47.4	33.1	36.8	23.9	15.2	11.6	10.4	9.4	6.5	2.5				
	70代以上	(n=1,544)	55.4	44.2	60.6	39.0	40.6	31.9	16.5	14.0	10.0	12.0	8.7	2.7				
	女性計	(n=10,084)	58.2	51.7	43.4	39.1	36.4	27.6	20.6	14.2	13.8	10.6	7.6	1.1				
	10代	(n=570)	48.4	65.1	24.4	29.3	25.6	16.1	24.7	12.1	15.3	8.4	18.6	0.2				
	20代	(n=1,171)	50.5	48.7	27.2	28.1	24.1	22.2	23.2	14.9	15.1	7.3	11.7	0.9				
	30代	(n=1,374)	58.2	56.6	33.8	35.9	32.5	23.9	24.5	13.3	14.8	10.8	7.4	0.7				
	40代	(n=1,829)	60.0	56.3	39.2	39.4	36.6	22.9	24.4	13.4	14.1	10.3	5.5	0.8				
	50代	(n=1,688)	62.7	56.3	44.1	44.8	40.7	24.6	21.0	15.6	14.6	11.8	6.9	1.4				
60代	(n=1,641)	60.3	46.9	53.2	42.7	40.5	31.7	15.8	16.3	13.3	10.2	5.4	1.8					
70代以上	(n=1,811)	58.4	41.0	61.6	43.0	42.6	41.2	14.8	12.6	11.3	12.5	6.3	1.5					

※選択肢は「その他」を除く降順で並び替え

7. 地域のファンである理由

国内観光旅行先として『この地域のファンである』と思える地域について、その理由を尋ねたところ、「魅力的な自然がある」が47.7%で最も多く、次いで「魅力的な観光施設がある」(43.6%)、「魅力的な歴史・文化財がある」(31.4%)、「魅力的な食を楽しむことができる」(31.0%)と続いており、順序は異なるものの『再訪問希望の理由』と同様、「自然」、「観光施設」、「食」が上位に挙げられている。

図表1-16: ファンである理由（「ファンである地域がある」人のみ、複数回答）



※選択肢は「ファンである理由」の割合で「その他」を除く降順に並び替え

性年代別にみると、「魅力的な自然がある」は、男女ともに、60代、70代以上でその割合が高く、10～30代で低くなっている。また、「魅力的な観光施設がある」は、男女10代で高く、「魅力的な食を楽しむことができる」は、女性の割合の方が高い傾向にあるなど、性年代別にみても、『再訪問希望の理由』と同様の傾向を示している。

図表1-17: 性年代別ファンである理由（「ファンである地域がある」人のみ、複数回答）

性年代	n	理由																
		魅力的な自然がある	魅力的な観光施設がある	魅力的な歴史・文化財がある	魅力的な食を楽しむことができる	魅力的な街並みがある	魅力的な温泉がある	魅力的な飲食店がある	魅力的な宿泊施設がある	季節によつて異なる風情を味わえる	気候が良く過ごしやすい	地域特有の文化を楽しむことができる	魅力的な体験・アクティビティを楽しむことができる	魅力的な祭り・イベントがある	地域の人たちとの交流を楽しむことができる	等々の聖地・ロケ地である	アニメや映画・ドラマチームの本拠地・ホームタウンである	応援しているスポーツチームの本拠地・ホーム
全体	(n=12,773)	47.7	43.6	31.4	31.0	29.8	25.0	24.3	21.7	20.3	17.3	13.0	11.3	10.6	5.9	5.4	2.7	1.8
男性計	(n=6,468)	45.6	43.2	30.6	27.7	27.4	24.8	23.9	21.4	17.3	16.2	12.8	11.3	11.6	6.6	6.2	3.5	2.2
10代	(n=411)	40.6	55.7	33.8	29.2	30.4	23.0	27.5	23.4	16.8	20.9	18.0	19.0	23.1	14.4	15.8	9.5	3.9
20代	(n=764)	30.6	46.6	23.0	20.2	25.4	24.9	21.7	16.4	8.5	13.2	12.0	11.8	14.1	7.9	13.2	5.6	2.5
30代	(n=856)	35.4	44.3	26.6	25.0	27.3	23.8	25.4	18.1	11.3	15.4	9.0	13.3	11.3	5.7	11.8	3.7	1.6
40代	(n=1,163)	39.6	40.1	26.0	26.6	27.9	23.4	25.8	19.6	12.3	15.5	11.1	12.6	11.2	6.4	5.4	4.1	1.6
50代	(n=1,097)	45.8	42.2	28.3	28.4	26.4	22.1	27.3	21.5	14.2	15.7	9.0	10.9	8.4	5.2	3.7	2.7	1.9
60代	(n=1,052)	53.0	40.7	34.5	31.7	27.1	23.9	22.2	23.7	21.4	16.5	14.5	8.1	10.0	4.8	1.2	2.2	1.6
70代以上	(n=1,125)	64.5	41.9	41.2	31.3	28.4	31.9	19.3	26.0	32.2	18.0	18.4	8.6	11.0	7.0	1.8	1.2	3.0
女性計	(n=6,305)	49.9	44.0	32.1	34.3	32.2	27.6	24.7	22.1	23.5	18.5	13.2	11.3	9.6	5.2	4.6	1.9	1.4
10代	(n=343)	34.1	60.9	30.0	37.3	37.6	16.1	35.6	23.3	17.2	19.2	14.0	21.3	18.1	10.2	15.7	5.8	1.2
20代	(n=677)	33.2	48.3	23.6	33.4	32.1	22.2	30.3	17.3	13.7	15.7	9.7	14.3	11.1	7.1	11.1	4.3	0.9
30代	(n=799)	38.7	45.6	24.8	33.4	30.3	23.9	25.3	20.9	12.0	18.4	9.6	12.5	8.0	4.8	7.9	2.4	1.3
40代	(n=1,075)	46.3	44.5	30.7	36.2	32.8	22.9	27.1	20.8	16.5	17.4	10.0	12.7	7.3	3.8	2.7	1.0	0.8
50代	(n=1,037)	50.0	42.3	31.2	35.6	35.0	24.6	24.0	24.2	20.4	20.1	10.7	9.6	7.8	4.8	2.6	1.4	1.7
60代	(n=1,065)	57.7	41.5	38.4	35.0	32.8	31.7	23.6	24.4	30.4	18.2	15.4	10.0	9.8	5.0	2.1	0.9	1.8
70代以上	(n=1,309)	65.8	39.3	38.3	31.6	29.0	41.2	18.3	22.6	39.8	19.6	19.8	7.5	10.7	4.7	1.3	1.1	1.6

※n数：「ファンである地域がある」回答者

※選択肢は、全体の割合で「その他」を除く降順に並び替え

『ファンである地域（都道府県）』別に『ファンである理由』をみると、「魅力的な自然がある」は「長野県」（75.8%）、「沖縄県」（70.7%）において多く、「魅力的な観光施設

がある」は「京都府」(60.4%)において多くなっている。「魅力的な歴史・文化財がある」は「奈良県」(85.4%)と「京都府」(76.9%)において特に多く、「魅力的な食を楽しむことができる」は「石川県」(50.0%)で多くなっている。また、都道府県内での順位をみると、「群馬県」、「大分県」において「魅力的な温泉がある」が、「香川県」、「福岡県」において「魅力的な飲食店がある」が最も多く挙げられている。

図表1-18:ファンである地域(都道府県)別 ファンである理由(複数回答)

ファンである理由		魅力的な自然がある	魅力的な観光施設がある	魅力的な歴史・文化財がある	魅力的な食を楽しむことができる	魅力的な街並みがある	魅力的な温泉がある	魅力的な飲食店がある	魅力的な宿泊施設がある	季節を味わえて異なる風	(%)
ファンである地域											
全体	(n=12,773)	47.7	43.6	31.4	31.0	29.8	25.0	24.3	21.7	20.3	
北海道	(n=2,295)	56.7	44.8	17.8	39.5	25.7	27.4	28.2	19.1	23.7	
青森県	(n=139)	60.4	36.0	25.9	31.7	16.5	38.1	15.1	23.7	28.8	
岩手県	(n=118)	52.5	35.6	28.8	28.0	19.5	33.9	16.1	18.6	22.0	
宮城県	(n=203)	41.4	39.9	29.6	32.0	27.6	33.0	21.2	25.6	17.7	
秋田県	(n=70)	45.7	38.6	22.9	28.6	18.6	40.0	11.4	25.7	20.0	
山形県	(n=124)	39.5	36.3	26.6	20.2	15.3	38.7	12.9	21.0	17.7	
福島県	(n=187)	49.7	43.9	27.8	27.3	27.3	33.2	18.7	21.9	25.7	
茨城県	(n=81)	48.1	44.4	29.6	19.8	12.3	17.3	19.8	21.0	21.0	
栃木県	(n=246)	57.3	46.7	30.1	23.2	16.7	45.9	17.1	34.6	23.6	
群馬県	(n=213)	47.9	32.4	11.3	15.0	21.6	61.5	9.4	30.5	19.2	
埼玉県	(n=89)	21.3	25.8	21.3	11.2	18.0	7.9	9.0	10.1	10.1	
千葉県	(n=182)	34.1	40.7	11.0	22.5	13.2	14.3	17.6	20.9	9.3	
東京都	(n=725)	14.3	47.6	21.9	25.2	33.7	6.3	30.1	14.2	6.1	
神奈川県	(n=556)	40.3	48.6	28.6	28.8	39.6	34.4	27.2	27.7	19.6	
新潟県	(n=127)	48.0	26.8	18.1	32.3	23.6	38.6	19.7	22.8	18.1	
富山県	(n=106)	68.9	38.7	17.9	29.2	19.8	24.5	21.7	19.8	25.5	
石川県	(n=272)	42.3	51.5	47.8	50.0	50.0	37.5	29.4	21.3	29.0	
福井県	(n=57)	50.9	36.8	21.1	35.1	17.5	28.1	28.1	21.1	14.0	
山梨県	(n=202)	68.8	29.7	23.3	19.3	13.4	34.2	19.8	28.2	30.7	
長野県	(n=558)	75.8	28.1	21.1	22.8	22.8	34.4	17.9	26.7	33.0	
岐阜県	(n=165)	50.9	40.6	44.8	23.0	39.4	41.2	15.2	24.8	26.1	
静岡県	(n=375)	55.7	41.1	20.0	33.1	17.6	50.9	24.3	37.6	18.4	
愛知県	(n=150)	17.3	35.3	20.0	28.7	22.7	13.3	28.7	9.3	8.0	
三重県	(n=198)	40.9	47.5	48.0	36.4	27.3	19.2	22.7	21.7	11.6	
滋賀県	(n=59)	57.6	25.4	39.0	20.3	39.0	25.4	16.9	18.6	23.7	
京都府	(n=1,460)	41.0	60.4	76.9	32.5	54.0	8.4	26.2	15.9	37.0	
大阪府	(n=322)	8.4	41.3	18.3	32.3	30.7	5.9	36.6	15.5	4.0	
兵庫県	(n=290)	33.8	43.1	27.6	33.1	37.9	37.2	26.6	30.3	15.5	
奈良県	(n=164)	47.0	39.6	85.4	11.0	34.8	6.1	12.8	13.4	20.7	
和歌山県	(n=128)	54.7	53.1	21.1	28.1	11.7	50.0	14.1	35.2	11.7	
鳥取県	(n=50)	44.0	32.0	20.0	22.0	26.0	36.0	20.0	16.0	10.0	
島根県	(n=95)	48.4	44.2	57.9	24.2	34.7	30.5	13.7	15.8	18.9	
岡山県	(n=52)	30.8	42.3	42.3	21.2	53.8	9.6	13.5	9.6	13.5	
広島県	(n=184)	37.5	54.3	48.4	28.8	30.4	6.0	25.0	12.0	17.4	
山口県	(n=70)	57.1	34.3	44.3	35.7	37.1	20.0	14.3	24.3	18.6	
徳島県	(n=18)	66.7	61.1	55.6	16.7	33.3	27.8	27.8	16.7	16.7	
香川県	(n=61)	39.3	37.7	23.0	32.8	27.9	9.8	44.3	13.1	9.8	
愛媛県	(n=80)	46.3	51.3	35.0	23.8	22.5	45.0	27.5	31.3	20.0	
高知県	(n=72)	55.6	31.9	25.0	40.3	16.7	12.5	25.0	19.4	13.9	
福岡県	(n=292)	13.7	36.3	16.8	41.1	27.7	8.9	50.3	13.0	7.2	
佐賀県	(n=28)	35.7	21.4	17.9	28.6	21.4	39.3	17.9	25.0	10.7	
長崎県	(n=170)	40.0	52.9	51.2	38.2	48.2	20.6	28.8	25.9	15.3	
熊本県	(n=152)	65.1	31.6	21.7	32.2	17.1	49.3	21.1	26.3	25.7	
大分県	(n=255)	42.7	45.5	14.5	29.4	31.4	75.7	22.0	44.3	18.8	
宮崎県	(n=60)	68.3	26.7	26.7	28.3	13.3	21.7	21.7	18.3	11.7	
鹿児島県	(n=166)	59.6	27.1	25.3	28.9	15.7	39.2	16.3	18.7	14.5	
沖縄県	(n=1,107)	70.7	39.8	24.0	29.6	22.5	6.7	20.5	23.7	9.5	

※赤字は、各項目の上位5位。塗りつぶしは、都道府県内の順位 ■:1位 ■:2位 ■:3位 ■:4位 ■:5位
 ※n数:「ファンである地域がある」回答者
 ※選択肢は、全体の割合で「その他」を除く降順に並び替え

図表1-18:ファンである地域(都道府県)別 ファンである理由(複数回答)(続き)

ファンである理由		い	む	と	魅	ト	を	る	ム	チ	応	そ
ファンである地域		気	域	が	力	魅	地	等	タ	援	の	他
		候	特	が	的	的	域	ア	メ	し	有	他
		が	有	で	な	な	の	ニ	ヤ	た	て	他
		良	の	可	体	祭	人	メ	映	ち	い	他
		く	文	る	験	り	た	画	口	て	る	他
		過	化	を	・	・	ち	画	ケ	本	ス	他
		ご	を	楽	ア	イ	と	画	ド	ポ	ポ	他
		し	し	し	ク	ベ	の	画	ラ	ー	ー	他
		や	し	む	こ	ン	交	マ	あ	ツ	ツ	他
		す	し	こ	こ		流	あ	ま			他
全体	(n=12,773)	17.3	13.0	11.3	10.6	5.9	5.4	2.7	1.8			
北海道	(n=2,295)	15.1	7.3	8.8	9.3	4.5	4.2	2.4	1.3			
青森県	(n=139)	15.1	12.9	8.6	25.9	7.9	7.9	2.9	0.7			
岩手県	(n=118)	22.9	18.6	8.5	10.2	9.3	7.6	2.5	3.4			
宮城県	(n=203)	16.3	13.3	8.4	13.8	7.4	9.9	5.4	3.4			
秋田県	(n=70)	7.1	14.3	10.0	10.0	7.1	2.9	1.4	1.4			
山形県	(n=124)	7.3	9.7	12.1	8.1	8.9	11.3	2.4	1.6			
福島県	(n=187)	16.6	13.4	13.9	10.2	9.6	11.8	3.2	0.0			
茨城県	(n=81)	9.9	9.9	9.9	16.0	4.9	3.7	2.5	4.9			
栃木県	(n=246)	17.1	6.1	11.0	6.9	2.4	4.5	1.6	0.4			
群馬県	(n=213)	14.1	5.6	5.6	6.1	2.3	8.5	3.3	1.9			
埼玉県	(n=89)	9.0	6.7	1.1	9.0	5.6	27.0	9.0	7.9			
千葉県	(n=182)	18.7	4.4	15.9	13.2	4.4	7.1	3.3	2.7			
東京都	(n=725)	8.1	9.8	16.1	19.6	6.1	12.6	5.5	3.3			
神奈川県	(n=556)	18.7	11.3	9.7	6.8	5.0	6.8	3.4	1.6			
新潟県	(n=127)	13.4	7.1	14.2	11.8	7.9	7.9	3.1	1.6			
富山県	(n=106)	9.4	12.3	14.2	10.4	2.8	3.8	0.9	0.9			
石川県	(n=272)	9.9	16.2	5.1	8.5	7.0	3.7	1.5	0.7			
福井県	(n=57)	10.5	5.3	7.0	8.8	0.0	1.8	5.3	1.8			
山梨県	(n=202)	18.8	7.9	12.4	5.4	6.4	7.4	3.0	2.5			
長野県	(n=558)	27.2	7.9	11.6	6.8	4.1	2.0	0.5	2.2			
岐阜県	(n=165)	10.9	13.3	4.2	20.0	6.1	4.8	1.2	1.2			
静岡県	(n=375)	31.7	5.9	9.9	6.1	4.5	4.8	2.7	1.9			
愛知県	(n=150)	16.0	7.3	12.0	10.7	9.3	11.3	1.3	6.7			
三重県	(n=198)	14.1	6.1	6.6	6.1	1.5	3.0	1.5	0.5			
滋賀県	(n=59)	13.6	11.9	10.2	5.1	5.1	5.1	1.7	1.7			
京都府	(n=1,460)	7.5	28.3	5.3	16.6	3.3	2.9	0.5	1.0			
大阪府	(n=322)	9.0	14.0	13.7	9.6	9.0	11.2	5.3	4.0			
兵庫県	(n=290)	20.3	14.5	9.7	11.0	7.9	7.2	4.8	1.7			
奈良県	(n=164)	15.9	20.1	4.3	4.3	5.5	3.7	0.6	1.2			
和歌山県	(n=128)	18.8	8.6	14.8	5.5	6.3	2.3	0.0	0.0			
鳥取県	(n=50)	10.0	4.0	14.0	6.0	2.0	14.0	2.0	2.0			
島根県	(n=95)	7.4	17.9	7.4	6.3	7.4	4.2	2.1	2.1			
岡山県	(n=52)	30.8	7.7	7.7	13.5	13.5	7.7	3.8	1.9			
広島県	(n=184)	19.0	13.6	7.6	9.8	7.1	8.7	10.9	2.7			
山口県	(n=70)	18.6	18.6	11.4	7.1	5.7	2.9	4.3	0.0			
徳島県	(n=18)	27.8	27.8	22.2	22.2	22.2	5.6	11.1	0.0			
香川県	(n=61)	24.6	8.2	11.5	11.5	4.9	16.4	3.3	0.0			
愛媛県	(n=80)	28.8	13.8	8.8	10.0	7.5	8.8	5.0	2.5			
高知県	(n=72)	26.4	12.5	15.3	11.1	15.3	5.6	2.8	1.4			
福岡県	(n=292)	15.1	9.6	6.2	15.1	9.6	4.5	6.8	3.1			
佐賀県	(n=28)	10.7	10.7	7.1	14.3	14.3	14.3	3.6	7.1			
長崎県	(n=170)	14.1	23.5	15.3	18.2	7.1	1.8	1.2	2.9			
熊本県	(n=152)	15.8	9.2	7.9	8.6	7.9	5.3	0.7	3.9			
大分県	(n=255)	16.5	6.7	7.5	4.3	3.9	1.2	1.6	0.8			
宮崎県	(n=60)	35.0	10.0	8.3	8.3	13.3	3.3	3.3	1.7			
鹿児島県	(n=166)	18.7	13.3	16.9	6.0	11.4	3.6	3.0	1.8			
沖縄県	(n=1,107)	39.2	21.0	29.5	7.4	9.1	1.3	2.3	0.9			

※赤字は、各項目の上位5位。塗りつぶしは、都道府県内の順位 ■:1位 ■:2位 ■:3位 ■:4位 ■:5位

※n数:「ファンである地域がある」回答者

※選択肢は、全体の割合で「その他」を除く降順に並び替え

2. 令和5年度調査結果のポイント

本調査は、全国の20,000人を対象に、令和4年度（令和4年4月～令和5年3月までの1年間）の国内旅行の実態と、今後の希望について調査を行ったものである。

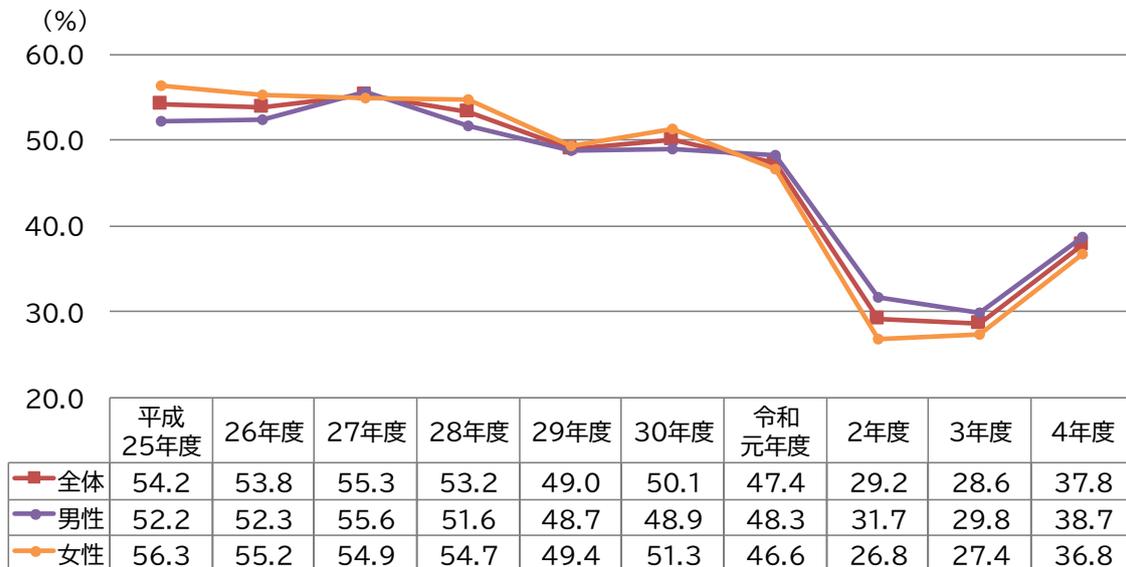
令和4年度の宿泊観光旅行は、昨年度の旅行実態から参加率が大幅に増加しており、参加希望についても増加傾向がみられる。一昨年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響によって大きく低下した参加率が持ち直していると考えられる。

Data 1 宿泊観光旅行の参加率

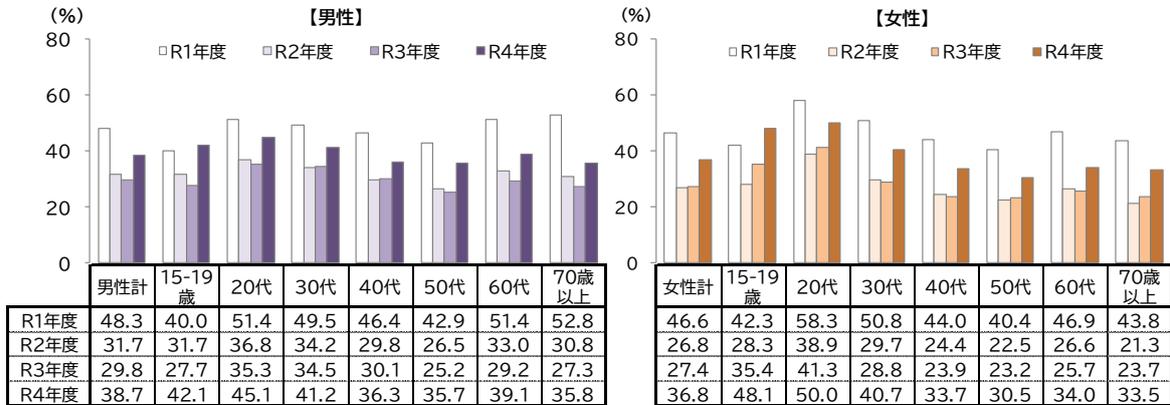
令和4年度における宿泊観光旅行への参加率は37.8%となり、昨年度に比べ9.2ポイントの増加となっている。宿泊観光旅行の参加率は、一昨年度に大きく低下し、昨年度も減少傾向にあったが、今年度は回復傾向にある。性別にみると、男性の参加率は昨年度に比べ8.9ポイント増の38.7%、女性の参加率は昨年度に比べ9.4ポイント増の36.8%であった。

性・年代別にみると、男女ともに全年代において昨年度に比べ増加している。男女とも15-19歳の参加率の増加幅が最も大きく、男性15-19歳、男性50代、女性15-19歳、女性30代では昨年度より10ポイント以上増加している。

図表2-1：宿泊観光旅行参加率の推移(全体／性別)



図表2-2: 宿泊観光旅行参加率の推移(性・年代別)

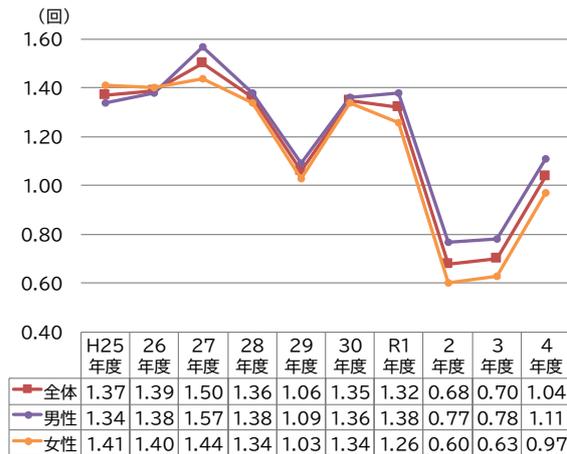


Data 2 宿泊観光旅行の回数

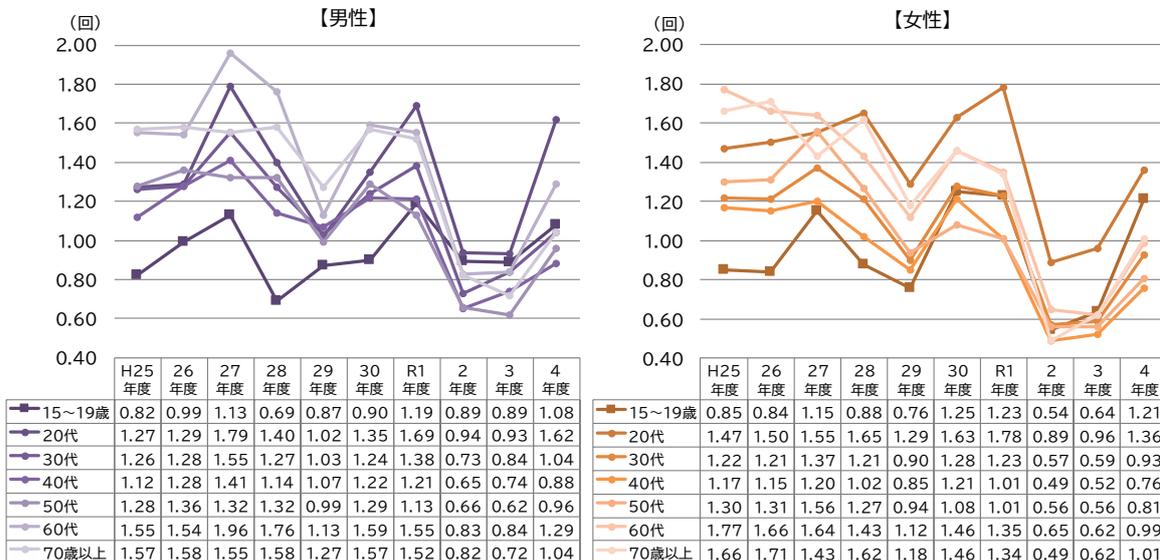
宿泊観光旅行への参加回数は全体で 1.04 回と昨年度に比べ増加傾向。性別にみると男女ともにほぼ同じ増加率となっている。

性・年代別でもすべての層で昨年度より増加。最も増加しているのは男性 20 代で、0.69 回の増加。女性では 15-19 歳で 0.57 回の増加となっている。

図表2-3: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(全体/性別)



図表2-4: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(性・年代別)

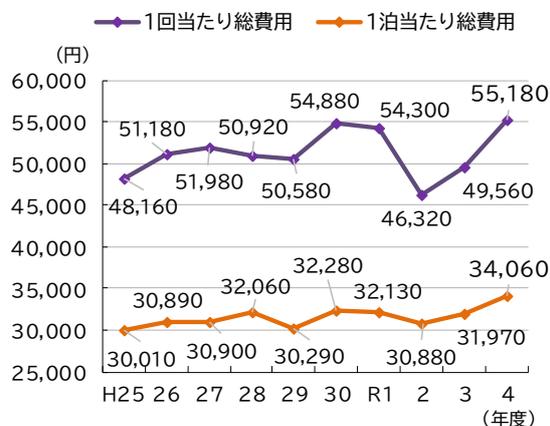


Data 3 旅行費用

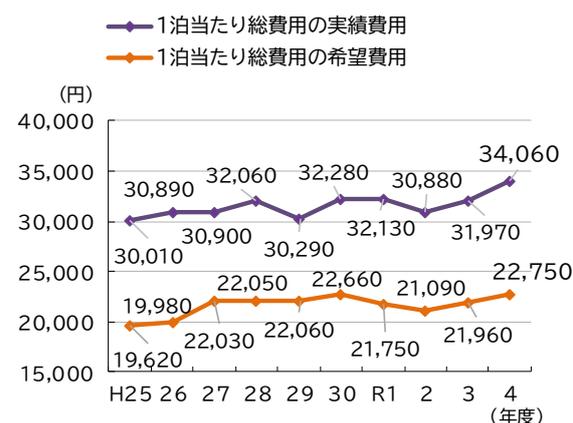
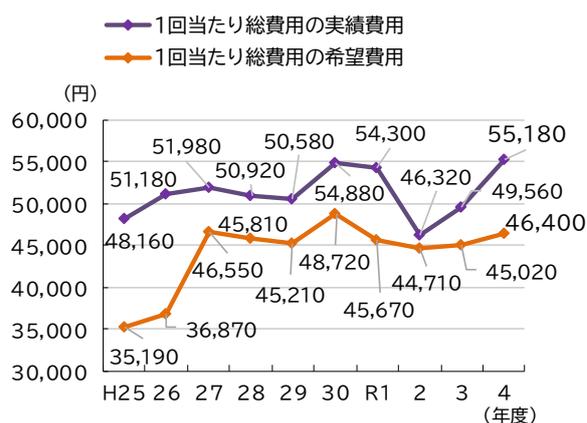
宿泊観光旅行における1回当たりの総費用は55,180円で、昨年度から5,620円の増加となっている。1泊当たりの総費用は34,060円で、昨年度より2,090円の増加である。

一方、希望費用では、1回当たりの総費用が46,400円と、昨年度から1,380円増加したものの、実績と希望の差は拡大した。1泊当たりの総費用は22,750円と、昨年度から790円増加した。

図表2-5: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たり)



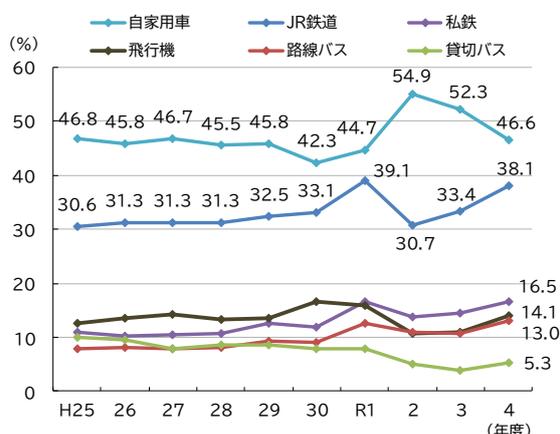
図表2-6: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たりの実績と希望)



Data 4 交通手段

宿泊観光旅行における利用交通手段は、「自家用車」が46.6%で最も多く、次いで「JR鉄道」が38.1%、「私鉄」が16.5%と続く。昨年度と比較すると、「自家用車」が5.7ポイント減、一方「JR鉄道」は4.7ポイント増となっている。「自家用車」の利用率が減少する一方、「JR鉄道」をはじめその他の交通手段は増加しており、コロナ禍以前の状況に戻りつつあるといえる。

図表2-7: 宿泊観光旅行の利用交通手段の推移

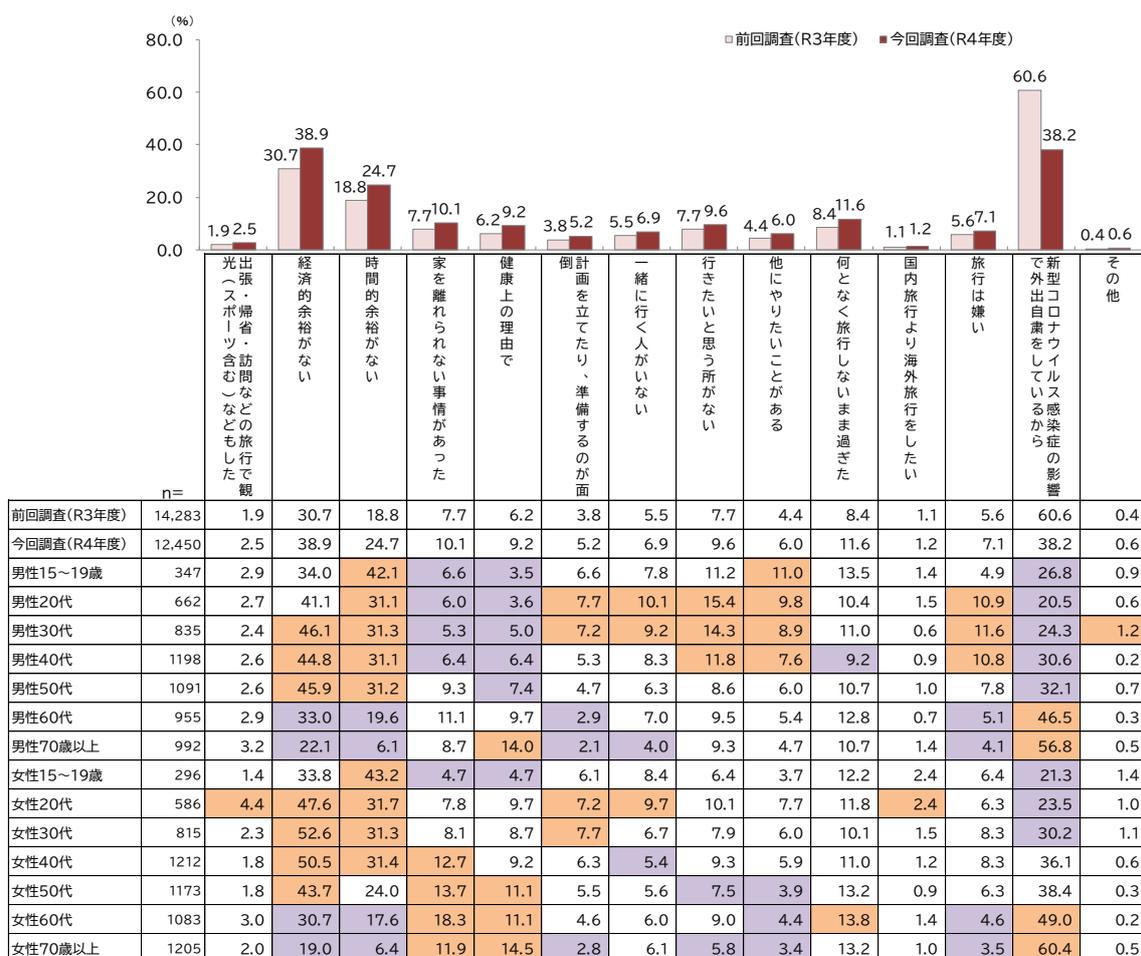


Data 5 宿泊観光旅行をしなかった理由

性・年代別に宿泊観光旅行をしなかった理由をみると、「経済的余裕がない」(38.9%)と「新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛をしているから」(38.2%)の割合が高く、「経済的余裕がない」は男女ともに20代から50代の層で高くなっている。一方、「新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛をしているから」は男女とも60代以上の高齢層で高い割合を示している。その他の理由をみると、男女とも50代以下の層では「時間的余裕がない」をあげる割合が高く、特に15-19歳の層では男女ともに4割台にのぼる。また、「健康上の理由で」は、年代が高くなるにつれ割合も高くなる傾向にあり、「家を離れられない事情があった」の割合は、女性の40代以上で他の層に比べ高くなっている。

昨年度調査と比較すると、「新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛をしているから」が減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響が低下しているものと考えられる。

図表2-8: 宿泊観光旅行をしなかった理由の比較



※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に高い

※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に低い

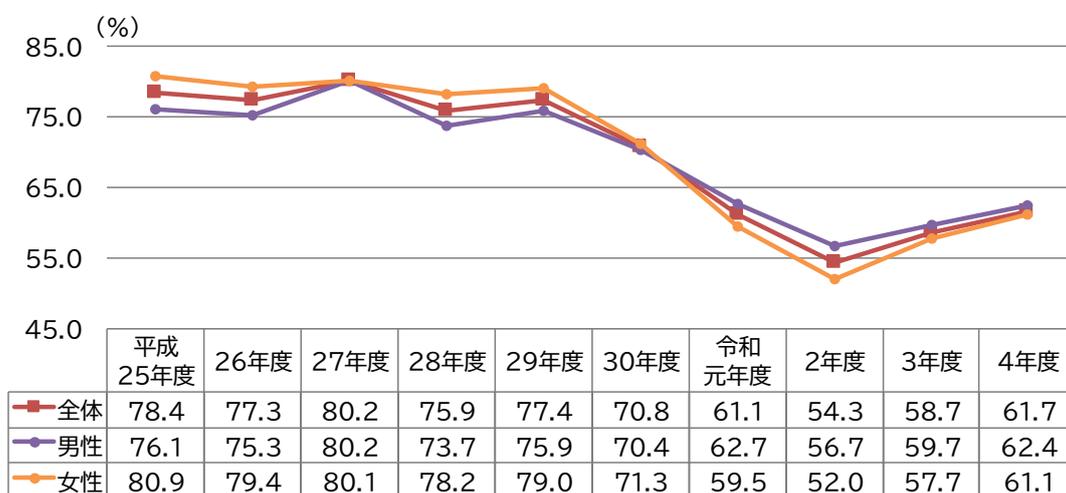
※ ベース: 宿泊観光旅行をしていない人

Data 6 宿泊観光旅行への参加希望率

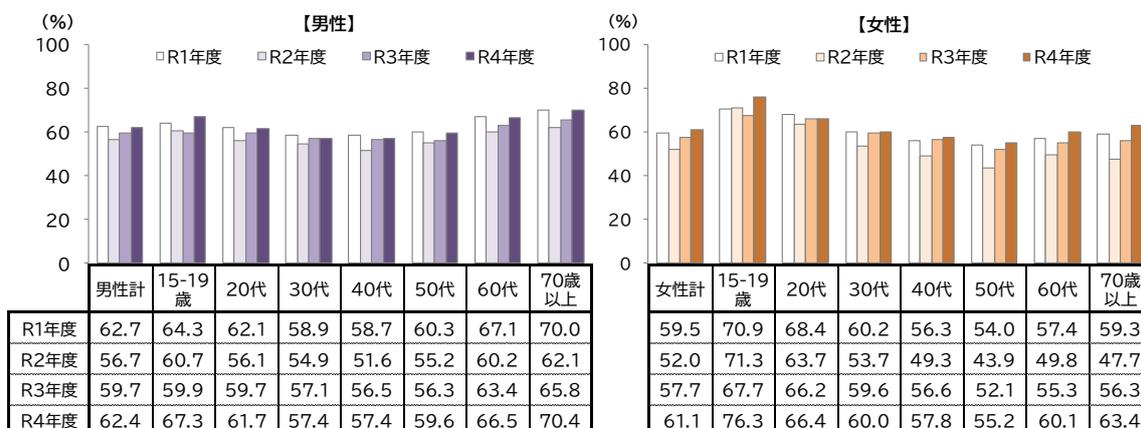
宿泊観光旅行への参加希望率は、昨年度に比べて3.0ポイント増加し、61.7%となっている。

性・年代別にみると、すべての層で昨年度より増加している。特に15-19歳の層と、女性70歳以上の層では7ポイント以上の増加となっており、宿泊観光旅行への参加希望という点でも、新型コロナウイルスの影響からの回復が推察される。しかし、男女ともに、依然として参加希望率が6割に満たない層もあり、コロナ禍前から続く減少傾向を覆すまでには至っていない。

図表2-9: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(全体/性別)



図表2-10: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(性・年代別)



3. 都道府県別集計（参考）

本調査は、平成24年度（第31回）調査よりインターネットモニター10,000人を対象としており、全国の動向として、満足度及び再来訪意向について、訪問先の都道府県別の集計を行ってきた。しかし、都道府県別の集計とした場合、そのサンプル数が100を割るところもあったため、令和元年度（第38回）調査より調査対象を20,000人に拡大し、より詳細な都道府県別の集計を実施している。

なお、今回の調査対象20,000人から得られた総旅行回数は19,203となっており、ここでは、その総旅行回数をベースに集計している。

図表3-1: 宿泊観光旅行の訪問先

1	北海道	1,267	25	滋賀県	177
2	青森県	211	26	京都府	778
3	岩手県	177	27	大阪府	928
4	宮城県	395	28	兵庫県	613
5	秋田県	169	29	奈良県	180
6	山形県	200	30	和歌山県	321
7	福島県	352	31	鳥取県	124
8	茨城県	260	32	島根県	146
9	栃木県	582	33	岡山県	162
10	群馬県	529	34	広島県	262
11	埼玉県	223	35	山口県	173
12	千葉県	812	36	徳島県	90
13	東京都	1,488	37	香川県	145
14	神奈川県	948	38	愛媛県	172
15	新潟県	386	39	高知県	147
16	富山県	201	40	福岡県	527
17	石川県	439	41	佐賀県	124
18	福井県	194	42	長崎県	291
19	山梨県	349	43	熊本県	282
20	長野県	782	44	大分県	315
21	岐阜県	322	45	宮崎県	111
22	静岡県	985	46	鹿児島県	219
23	愛知県	496	47	沖縄県	593
24	三重県	442		TOTAL	19,203

※上記数値を「都道府県別の宿泊観光旅行の参加者」のサンプル数（n値）として、各種集計を行う。

※新型コロナウイルスの影響により、総旅行回数が減少しており、サンプル数が100を割る県もあることに注意されたい。

【都道府県別集計1】年代構成

都道府県別に宿泊観光旅行参加者の年代構成をみると、30代以下の割合が高いのは大阪府(55.0%)、埼玉県(50.7%)、東京都(49.4%)、千葉県(47.3%)となっている。30代以下の占める割合の平均は36.2%であり、14都府県で平均を上回っている。

平均年齢をみると、大阪府が39.5歳と最も若く、次いで東京都(41.9歳)、愛知県(42.5歳)となっている。

図表3-2: 都道府県別来訪者の年代構成(30代以下の割合が高い順)

n=	%							(%)	(歳)
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	30代以下	平均年齢	
TOTAL 19,203	6.4	16.2	13.6	14.9	15.0	17.4	16.6	36.2	48.0
大阪府 928	12.1	25.4	17.5	15.9	12.5	9.5	7.1	55.0	39.5
埼玉県 223	8.1	22.4	20.2	12.1	15.7	9.0	12.6	50.7	42.8
東京都 1,488	8.9	24.3	16.1	14.7	14.7	12.4	8.8	49.4	41.9
千葉県 812	6.9	21.3	19.1	16.4	12.9	11.9	11.5	47.3	43.4
愛知県 496	7.9	22.6	16.1	18.3	14.9	11.5	8.7	46.6	42.5
香川県 145	5.5	15.2	22.8	16.6	13.8	15.2	11.0	43.4	45.3
福岡県 527	6.6	23.5	13.1	19.2	13.3	16.7	7.6	43.3	43.5
茨城県 260	10.8	18.5	13.1	11.5	14.6	16.9	14.6	42.3	45.3
秋田県 169	5.9	18.3	16.6	14.8	10.7	11.8	21.9	40.8	47.4
沖縄県 593	6.7	18.0	14.7	18.2	12.5	21.9	7.9	39.5	45.5
広島県 262	8.4	17.2	13.4	18.7	15.3	12.6	14.5	38.9	45.6
宮城県 395	6.3	16.7	14.2	17.2	13.7	18.0	13.9	37.2	47.1
京都府 778	9.1	16.1	12.0	14.1	14.7	15.6	18.5	37.1	47.3
山形県 200	7.0	15.5	14.5	17.0	11.0	19.5	15.5	37.0	47.7
長崎県 291	6.5	13.4	15.8	16.8	12.7	17.2	17.5	35.7	48.8
神奈川県 948	17.6	13.4	14.6	15.3	13.2	22.0	22.0	34.9	49.1
三重県 442	5.7	13.3	14.5	15.8	12.9	18.1	19.7	33.5	49.8
栃木県 582	6.0	13.6	13.7	14.1	12.9	18.6	21.1	33.3	49.9
新潟県 386	7.5	14.5	10.9	13.0	17.9	20.2	16.1	32.9	48.9
岐阜県 322	15.8	12.4	14.3	14.0	18.0	20.8	20.8	32.9	49.7
福島県 352	7.7	12.5	12.5	11.4	15.3	24.1	16.5	32.7	50.0
愛媛県 172	13.4	15.1	12.2	19.8	18.6	16.9	16.9	32.6	49.3
北海道 1,267	5.9	14.4	12.0	15.4	16.3	19.6	16.4	32.3	49.3
兵庫県 613	14.0	13.5	12.6	15.5	22.0	18.1	18.1	31.8	50.6
山口県 173	11.6	16.8	9.2	12.1	22.0	24.9	24.9	31.8	52.5
石川県 439	15.9	12.1	14.6	15.9	20.5	17.3	17.3	31.7	50.0
群馬県 529	5.9	12.9	12.7	14.2	16.4	15.7	22.3	31.4	50.6
福井県 194	16.0	14.4	15.5	16.5	16.0	20.6	20.6	31.4	50.6
富山県 201	5.0	13.9	12.4	12.9	12.4	15.9	27.4	31.3	52.1
和歌山県 321	5.6	11.5	13.7	11.8	15.0	23.7	18.7	30.8	51.2
宮崎県 111	17.1	9.0	15.3	16.2	19.8	18.0	18.0	30.6	50.1
山梨県 349	7.4	11.2	11.7	16.9	15.5	17.8	19.5	30.4	49.7
熊本県 282	7.1	9.6	13.5	17.4	13.5	19.9	19.1	30.1	50.0
岡山県 162	11.1	14.8	19.8	17.9	16.0	16.7	16.7	29.6	49.7
大分県 315	5.4	10.2	14.0	14.9	14.9	21.3	19.4	29.5	50.9
滋賀県 177	12.4	11.9	17.5	11.9	17.5	24.3	24.3	28.8	51.3
静岡県 985	12.4	12.1	13.7	18.9	19.9	19.3	19.3	28.2	51.5
青森県 211	5.2	10.4	11.4	8.1	10.0	28.9	26.1	27.0	54.4
鳥取県 124	12.9	8.9	17.7	11.3	21.8	22.6	22.6	26.6	51.8
鹿児島県 219	10.0	11.4	13.2	15.5	23.3	23.3	23.3	24.7	53.3
長野県 782	5.1	10.1	9.2	16.2	16.0	21.1	22.3	24.4	52.5
徳島県 90	7.8	12.2	13.3	20.0	20.0	22.2	22.2	24.4	52.7
高知県 147	10.2	10.2	10.9	13.6	23.8	27.9	27.9	23.8	54.7
佐賀県 124	5.6	8.1	7.3	18.5	22.6	15.3	22.6	21.0	53.2
島根県 146	11.0	7.5	15.8	17.1	25.3	21.2	21.2	20.5	54.1
岩手県 177	6.2	5.6	7.9	9.6	26.6	31.1	13.0	19.8	53.5
奈良県 180	8.3	7.2	11.1	19.4	21.7	29.4	29.4	18.3	56.1

※5%未満は非表示、30代以下の割合の多い順に掲載

【都道府県別集計2】居住地構成

都道府県別の居住地構成をみると、大半の訪問地で同じエリア内に住んでいる人の割合が高く、特に栃木県において関東居住者の占める割合が81.6%と高い。次いで、佐賀県(78.2%)、群馬県(74.7%)となっている。

一方、山梨県、長野県においては、同じエリアからの来訪者の割合が低く(それぞれ7.4%、12.9%)、関東や中部等、近隣エリアの居住者の占める割合が高くなっている。

図表3-3: 都道府県別来訪者の居住地構成

	TOTAL	居住地								
		北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州
TOTAL	19,203	4.1	6.1	37.4	4.1	13.3	18.3	4.5	2.3	9.9
北海道	1,267	40.0	3.9	29.8	1.2	7.9	11.3	1.7	0.7	3.6
青森県	211	3.8	39.8	28.9	3.3	8.1	8.1	0.9	2.8	4.3
岩手県	177	1.1	51.4	34.5	1.1	5.6	4.0	1.1	0.6	0.6
宮城県	395	1.3	46.8	34.2	3.3	5.3	6.8	0.3	0.3	1.8
秋田県	169	2.4	49.1	29.6	3.0	7.1	4.1	0.6	1.8	2.4
山形県	200	0.5	39.0	35.0	7.0	5.5	8.0	1.5	0.5	3.0
福島県	352	0.9	29.5	51.4	4.0	6.8	5.7	0.0	0.6	1.1
茨城県	260	1.2	10.4	70.0	2.7	5.4	3.5	1.5	0.0	5.4
栃木県	582	0.5	7.4	81.6	2.1	2.7	4.5	0.5	0.3	0.3
群馬県	529	0.4	4.3	74.7	8.3	5.3	5.1	0.9	0.2	0.8
埼玉県	223	1.8	13.0	59.6	4.5	6.3	9.9	1.8	0.0	3.1
千葉県	812	2.0	4.4	66.5	2.8	11.5	8.6	0.7	0.6	2.8
東京都	1,488	5.1	8.1	26.3	7.5	15.8	19.6	4.8	3.1	9.7
神奈川県	948	1.6	3.5	69.6	5.1	8.4	7.9	1.4	0.5	2.0
新潟県	386	1.0	5.7	48.2	27.7	7.5	6.5	0.8	0.5	2.1
富山県	201	1.5	3.5	28.4	11.4	31.3	19.4	1.0	0.5	3.0
石川県	439	1.4	0.9	28.9	4.3	35.5	23.5	1.8	0.7	3.0
福井県	194	0.0	1.5	12.9	3.1	37.6	42.3	1.0	1.0	0.5
山梨県	349	0.6	0.3	67.0	7.4	15.2	7.4	0.6	0.3	1.1
長野県	782	0.4	1.3	49.1	12.9	19.2	14.7	1.0	0.6	0.8
岐阜県	322	0.9	0.9	14.6	5.3	53.1	21.4	0.9	0.6	2.2
静岡県	985	0.5	1.3	60.2	4.4	24.9	7.0	0.4	0.3	1.0
愛知県	496	1.8	1.6	29.0	3.2	33.1	22.2	2.8	1.6	4.6
三重県	442	0.7	2.0	12.2	1.8	31.0	48.9	0.5	1.1	1.8
滋賀県	177	0.6	1.1	13.6	1.7	22.0	54.2	2.3	1.7	2.8
京都府	778	2.3	2.2	34.3	2.1	15.6	30.5	4.2	2.4	6.4
大阪府	928	2.7	2.3	35.0	2.3	13.7	18.1	10.5	5.5	10.0
兵庫県	613	0.5	0.8	11.9	1.6	8.2	61.2	7.2	4.1	4.6
奈良県	180	0.6	0.6	23.9	1.1	12.2	55.0	1.1	1.7	3.9
和歌山県	321	0.6	1.2	10.6	0.9	9.7	72.6	1.9	1.9	0.6
鳥取県	124	0.8	1.6	13.7	0.0	2.4	33.9	39.5	3.2	4.8
島根県	146	2.1	1.4	14.4	2.1	6.8	24.7	34.2	6.2	8.2
岡山県	162	2.5	0.6	13.0	0.6	6.2	34.0	28.4	11.1	3.7
広島県	262	1.1	1.5	23.7	0.4	8.8	24.0	22.5	5.7	12.2
山口県	173	0.0	0.0	9.2	1.7	2.9	15.0	37.0	8.1	26.0
徳島県	90	2.2	3.3	18.9	1.1	10.0	32.2	13.3	15.6	3.3
香川県	145	0.0	0.7	19.3	0.7	7.6	34.5	10.3	21.4	5.5
愛媛県	172	0.6	0.0	22.1	2.3	8.7	19.8	15.7	23.8	7.0
高知県	147	0.7	2.0	25.2	1.4	6.1	21.8	8.2	25.9	8.8
福岡県	527	1.7	1.1	24.1	0.8	5.5	14.2	10.8	2.3	39.5
佐賀県	124	0.0	0.0	11.3	0.8	0.8	4.0	4.8	0.0	78.2
長崎県	291	0.3	0.7	17.5	1.0	3.1	11.3	7.9	1.4	56.7
熊本県	282	0.7	1.4	11.3	1.8	3.5	7.1	5.0	1.4	67.7
大分県	315	0.0	0.3	8.9	0.6	4.4	7.6	8.6	1.3	68.3
宮崎県	111	0.0	0.9	13.5	1.8	8.1	5.4	0.0	1.8	68.5
鹿児島県	219	2.3	2.3	21.0	0.9	4.6	16.4	2.3	0.9	49.3
沖縄県	593	2.2	1.7	38.8	2.4	11.1	17.7	3.4	1.2	21.6

※訪問地毎に、最も訪問率の高い居住地を■、最も訪問率の低い居住地を■

【都道府県別集計3】 来訪回数

来訪回数をみると、2回以上の来訪の割合が最も高い（リピーター率が高い）のは京都府で75.8%。次いで神奈川県（75.6%）、大阪府（72.4%）となっている。

5回以上来訪した割合をみると、神奈川県が43.8%で最も多く、次いで佐賀県（41.1%）、東京都（39.5%）となっている。

図表3-4: 都道府県別来訪回数(リピーター率が高い順)

n=	初めて					2回以上		
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	初めての 来訪	2回以上 来訪
TOTAL 19,203	25.8	24.8	10.3	30.6	8.5		25.8	65.7
京都府 778	16.2	24.0	13.1	38.7	8.0		16.2	75.8
神奈川県 948	17.3	21.3	10.5	43.8	7.1		17.3	75.6
大阪府 928	17.0	25.5	9.3	37.6	10.6		17.0	72.4
大分県 315	23.8	28.3	10.5	32.7			23.8	71.4
栃木県 582	22.9	24.7	15.5	29.7	7.2		22.9	69.9
千葉県 812	19.3	22.3	9.7	37.8	10.8		19.3	69.8
新潟県 386	21.5	24.4	10.1	35.0	9.1		21.5	69.4
福岡県 527	21.1	23.9	10.1	35.5	9.5		21.1	69.4
佐賀県 124	24.2	23.4		41.1	6.5		24.2	69.4
東京都 1,488	18.7	19.0	10.2	39.5	12.6		18.7	68.8
北海道 1,267	24.9	25.9	11.4	31.1	6.6		24.9	68.4
静岡県 985	25.3	20.7	11.6	36.1	6.3		25.3	68.4
岩手県 177	27.1	27.7	9.0	31.1	5.1		27.1	67.8
山梨県 349	25.8	28.1	10.6	28.4	7.2		25.8	67.0
長野県 782	23.4	24.0	9.5	33.5	9.6		23.4	67.0
熊本県 282	27.3	21.6	11.3	34.0	5.7		27.3	67.0
長崎県 291	26.5	34.4		27.5	6.9		26.5	66.7
兵庫県 613	25.1	21.9	12.2	31.3	9.5		25.1	65.4
福島県 352	29.3	25.6	13.6	26.1	5.4		29.3	65.3
愛知県 496	26.2	23.8	11.7	29.8	8.5		26.2	65.3
三重県 442	28.1	28.1	13.8	23.3	6.8		28.1	65.2
群馬県 529	28.4	26.5	9.8	28.0	7.4		28.4	64.3
沖縄県 593	32.5	26.1	12.1	26.0			32.5	64.2
宮城県 395	27.3	29.6	9.4	25.1	8.6		27.3	64.1
岐阜県 322	30.1	28.3	10.9	24.5	6.2		30.1	63.7
奈良県 180	30.0	31.1	7.8	23.9	7.2		30.0	62.8
和歌山県 321	30.2	24.9	8.1	29.3	7.5		30.2	62.3
鹿児島県 219	33.8	26.5	7.3	27.4	5.0		33.8	61.2
山口県 173	31.8	30.6	6.4	23.7	7.5		31.8	60.7
鳥取県 124	30.6	33.1		22.6	8.9		30.6	60.5
岡山県 162	32.7	40.7		8.6	11.1	6.8	32.7	60.5
愛媛県 172	33.1	29.1	9.3	22.1	6.4		33.1	60.5
高知県 147	32.7	25.9	10.9	23.8	6.8		32.7	60.5
滋賀県 177	35.6	28.2	11.9	19.2	5.1		35.6	59.3
福井県 194	34.0	29.4	6.2	22.7	7.7		34.0	58.2
石川県 439	32.6	29.8	10.0	17.3	10.3		32.6	57.2
広島県 262	39.3	26.7	7.3	21.4	5.3		39.3	55.3
埼玉県 223	29.6	20.2	11.7	23.3	15.2		29.6	55.2
山形県 200	37.0	24.5	5.5	25.0	8.0		37.0	55.0
島根県 146	41.1	26.7		24.0			41.1	54.8
青森県 211	39.8	25.1	7.1	22.3	5.7		39.8	54.5
茨城県 260	40.4	21.5	10.4	22.3	5.4		40.4	54.2
秋田県 169	32.0	30.2	10.1	13.6	14.2		32.0	53.8
宮崎県 111	30.6	19.8	11.7	20.7	17.1		30.6	52.3
富山県 201	42.3	28.9	10.4	12.9	5.5		42.3	52.2
香川県 145	41.4	27.6	6.2	15.9	9.0		41.4	49.7
徳島県 90	51.1	24.4	5.6	11.1	7.8		51.1	41.1

※5%未満は非表示、2回以上の来訪が多い順に掲載

【都道府県別集計4】旅行行動

旅行行動をみると、「自然の風景をみる」の割合が最も高い訪問地が多く、特に青森県(71.6%)、長野県(71.1%)、沖縄県(67.8%)、高知県(67.3%)では7割前後となっている。「温泉浴」については、多くの温泉地を有している大分県(69.2%)、群馬県(67.1%)でその割合が高く、「名所・旧跡をみる」の割合は京都府(60.9%)、奈良県(53.3%)が高い。一方、東京都では「都会見物」(32.2%)と「演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞・見物」(30.8%)、千葉県と大阪府では「レジャーランド・テーマパーク」(それぞれ42.7%、30.0%)が高くなっており、他の訪問地とは異なる傾向をみせている。

図表3-5: 都道府県別宿泊観光旅行での行動

	自然の風景をみる	温泉浴	名所・旧跡をみる	特産品の買物・飲食	神仏詣	美術館・博物館・水族館の見物	動物園・植物園・水族館・テーマパーク	季節の花見	レジャーランド・テーマパーク	演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞・見物	都会見物	ドライブ	祭りや行事をみる	物博覧会・イベントの見物	ハイキング	写生・写真・植物採集	キャンプ・オートキャンプ	釣り	登山	海水浴
TOTAL	49.1	37.3	31.3	18.7	13.1	12.2	10.9	10.8	10.6	10.1	8.9	5.2	4.9	4.0	3.1	2.5	2.4	2.3	2.3	2.3
北海道	60.1	45.2	31.3	24.2	5.6	12.5	11.3	5.7	9.8	11.2	11.6	5.7	4.2	4.2	3.8	3.2	2.5	2.2	2.8	1.1
青森県	71.6	46.9	41.2	21.8	7.1	8.5	13.3	7.1	3.8	5.7	10.9	11.4	4.7	5.2	4.7	2.8	3.3	1.4	3.3	2.8
岩手県	58.2	54.2	28.8	23.2	9.6	6.8	9.0	5.1	6.8	5.1	6.8	11.9	3.4	5.1	3.4	0.6	1.1	2.3	2.3	0.6
宮城県	45.1	38.7	35.9	16.2	12.4	9.4	7.3	4.8	12.2	11.9	7.1	5.3	6.8	2.0	2.8	2.0	1.8	2.0	2.0	1.5
秋田県	61.5	52.1	32.0	21.3	9.5	13.6	16.0	7.1	8.9	7.7	16.0	11.8	5.9	7.1	6.5	3.6	4.1	3.6	6.5	3.0
山形県	53.0	48.0	29.5	14.0	13.0	11.0	14.0	4.0	7.0	3.5	10.5	9.0	4.5	2.5	2.0	4.5	3.5	5.5	5.0	2.0
福島県	56.0	52.6	28.7	14.5	10.8	9.7	13.6	9.7	6.8	4.5	11.4	6.3	2.3	4.8	3.1	3.7	1.4	1.4	2.8	0.6
茨城県	60.8	25.8	31.5	16.5	16.5	15.0	21.5	9.2	7.3	6.9	8.1	7.3	5.8	6.5	6.2	10.4	5.0	5.4	4.6	1.5
栃木県	62.4	59.1	31.1	18.4	15.6	12.7	15.8	12.5	3.6	4.6	10.5	4.5	2.9	8.9	3.1	4.1	2.4	2.7	3.3	1.5
群馬県	58.2	67.1	26.1	16.6	8.9	7.8	11.2	7.8	4.2	3.6	11.0	2.8	1.9	8.3	2.5	3.0	4.7	1.1	2.6	0.4
埼玉県	44.4	22.4	25.1	12.6	13.0	12.6	12.6	9.9	25.6	11.7	7.6	7.2	5.8	7.2	6.7	9.0	8.1	3.1	6.7	3.6
千葉県	32.0	24.8	13.8	11.2	6.9	9.1	8.0	42.7	7.3	4.9	6.4	3.9	3.8	2.6	2.1	2.7	3.6	2.6	1.0	3.2
東京都	16.5	7.5	18.1	10.3	10.7	12.0	5.9	12.3	30.8	32.2	3.4	5.5	9.7	1.4	2.2	0.9	1.6	1.3	1.1	1.6
神奈川県	46.4	42.7	25.7	18.0	11.5	11.0	11.5	7.8	11.1	11.7	7.6	3.9	4.3	4.0	2.2	1.6	1.7	1.6	2.3	1.7
新潟県	47.2	49.2	25.1	21.2	11.9	9.1	10.1	4.9	7.5	4.7	9.1	5.2	4.4	4.1	2.1	1.3	2.8	2.6	3.1	4.4
富山県	62.7	42.3	33.8	20.9	8.0	13.9	12.4	2.5	6.5	10.4	10.9	7.0	2.5	6.5	3.0	1.5	1.5	5.5	4.5	0.5
石川県	56.5	48.0	29.5	14.0	13.0	11.0	14.0	4.0	7.0	3.5	10.5	9.0	4.5	2.5	2.0	4.5	3.5	5.5	5.0	2.0
福井県	51.5	44.3	33.5	24.2	9.8	11.9	7.7	6.7	6.2	4.6	14.9	6.7	7.2	3.1	2.6	4.6	4.1	7.7	2.6	4.6
山梨県	63.6	46.1	28.9	18.9	14.0	8.9	17.2	11.2	4.0	4.0	13.5	3.2	2.9	9.2	4.0	7.4	7.2	5.7	7.7	1.4
長野県	71.1	47.3	30.8	19.6	13.0	8.8	11.6	5.1	2.4	2.9	11.5	2.6	2.7	9.6	2.6	2.7	2.0	1.5	6.3	0.6
岐阜県	62.4	59.6	39.1	21.1	9.3	6.5	9.9	5.0	2.5	2.5	6.8	5.6	3.1	2.5	2.2	2.5	1.2	2.5	1.6	0.9
静岡県	57.9	60.6	28.0	20.4	11.1	13.8	15.4	8.7	4.3	3.9	10.5	4.7	3.9	4.7	3.9	1.7	3.7	3.1	0.9	4.1
愛知県	27.8	17.9	26.8	15.7	10.3	14.7	7.7	11.5	24.2	13.1	6.3	5.4	9.5	1.4	2.6	1.0	2.2	2.4	1.0	0.4
三重県	50.5	43.4	32.4	19.5	30.3	17.2	7.9	16.7	3.4	3.8	10.6	4.3	5.0	4.3	3.4	2.9	3.3	5.2	2.0	1.4
滋賀県	60.5	37.3	44.1	19.8	24.3	12.4	18.1	11.3	9.6	6.2	13.0	8.5	4.5	5.1	6.8	5.1	3.4	3.4	2.8	2.8
京都府	52.2	18.8	60.9	20.3	40.7	14.3	19.7	4.1	8.0	12.1	3.7	8.1	6.0	3.2	2.3	2.3	1.3	1.0	1.3	1.8
大阪府	16.4	10.2	19.4	14.0	8.1	10.0	6.0	30.0	24.8	21.3	2.4	4.5	6.6	1.0	2.5	0.8	0.9	0.9	0.4	0.2
兵庫県	47.0	49.6	29.7	23.5	8.8	14.7	11.1	9.3	11.7	13.1	9.0	3.4	3.6	3.1	2.6	3.1	2.0	3.1	1.0	1.6
奈良県	52.8	30.0	53.3	15.0	38.9	6.1	13.9	3.9	3.9	2.8	5.6	5.6	5.6	7.2	2.2	1.1	0.6	0.6	3.3	0.6
和歌山県	65.1	55.1	32.4	15.6	22.1	16.8	8.7	16.5	2.2	1.9	10.0	3.4	1.2	3.7	2.8	2.2	1.9	2.8	0.9	3.4
鳥取県	62.9	57.3	31.5	21.8	14.5	16.1	9.7	4.0	6.5	3.2	6.5	11.3	4.8	8.1	4.8	4.0	2.4	5.6	6.5	6.5
島根県	57.5	45.9	49.3	13.0	45.9	15.8	4.1	1.4	2.7	4.1	12.3	2.1	4.8	4.8	4.1	0.0	0.0	2.7	0.7	2.1
岡山県	53.7	25.9	38.3	22.2	11.1	14.8	16.7	7.4	7.4	4.9	5.6	7.4	1.9	3.7	3.7	1.9	3.1	0.6	1.2	1.9
広島県	53.1	18.7	51.9	21.8	16.4	16.4	11.5	3.4	13.7	10.3	10.3	4.6	7.3	4.2	3.8	1.9	2.7	1.1	2.7	1.1
山口県	55.5	39.9	44.5	16.2	14.5	11.6	11.0	6.4	6.4	4.6	10.4	4.6	2.9	4.0	3.5	3.5	2.3	0.6	1.2	1.7
徳島県	57.8	30.0	41.1	25.6	16.7	24.4	11.1	6.7	2.2	6.7	15.6	6.7	5.6	3.3	2.2	2.2	1.1	2.2	1.1	2.2
香川県	51.7	29.7	29.7	25.5	18.6	13.8	12.4	8.3	4.8	9.0	3.4	6.2	4.1	6.2	1.4	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0
愛媛県	45.9	48.3	45.9	18.6	14.5	9.3	6.4	5.2	9.3	5.8	12.2	3.5	2.9	5.2	4.1	1.2	1.7	1.7	1.2	1.7
高知県	67.3	27.9	50.3	24.5	15.6	17.7	9.5	2.7	4.1	2.7	12.2	4.1	2.0	2.0	3.4	0.7	1.4	0.7	0.0	0.7
福岡県	36.1	20.3	30.7	21.8	12.5	10.8	7.4	8.9	21.6	19.7	6.3	6.6	9.7	0.9	2.3	1.5	1.3	1.1	0.6	1.3
佐賀県	44.4	61.3	23.4	29.0	13.7	4.8	9.7	4.8	4.8	1.6	7.3	4.8	1.6	0.8	1.6	0.8	0.8	1.6	2.4	2.4
長崎県	51.5	28.2	40.5	22.0	6.9	12.0	10.3	26.1	5.8	5.5	8.2	5.5	6.5	3.1	2.7	1.4	1.0	3.1	2.1	3.1
熊本県	55.7	45.7	34.0	26.2	8.5	12.8	8.9	7.1	6.4	7.1	12.1	5.0	2.8	1.8	3.2	2.8	2.5	2.5	3.9	1.8
大分県	48.9	69.2	24.8	20.0	6.7	9.2	11.1	10.8	5.4	3.2	10.5	3.2	2.5	2.5	2.5	1.6	1.9	0.6	3.5	1.0
宮崎県	53.2	34.2	37.8	21.6	22.5	15.3	10.8	4.5	11.7	7.2	16.2	6.3	3.6	4.5	4.5	6.3	2.7	0.9	2.7	1.8
鹿児島県	60.7	51.6	36.1	19.2	11.0	10.5	9.6	3.7	4.1	9.6	9.6	5.0	2.7	4.6	3.7	1.8	0.9	4.1	5.9	2.7
沖縄県	67.8	11.3	36.1	23.6	5.1	19.4	8.8	8.6	8.3	7.9	13.5	5.1	4.0	2.9	3.2	2.7	2.5	2.0	0.8	19.4

※: 1位 ■: 2位 ■: 3位 ■: 4位 ■: 5位

【都道府県別集計5】旅行費用

旅行費用をみると、旅行費用の総額では、沖縄県が109,650円で最も高く、次いで北海道(73,670円)、青森県(68,610円)となっている。

旅行先での「宿泊費」が高いのは、沖縄県(45,490円)、千葉県(31,210円)、北海道(30,870円)である。「土産代」は沖縄県(11,600円)、千葉県(9,100円)、北海道(8,870円)が高く、「観光行動費」は沖縄県(24,080円)、千葉県(18,590円)、東京都(16,960円)が高い。沖縄県はすべての費用において、最も高くなっている。また、「観光行動費」や「土産代」は「レジャーランド・テーマパーク」利用の多い、千葉県で高くなっている。

図表3-6:都道府県別宿泊観光旅行での費用

	総額 n=	旅行費用(平均額)					
		総額	団体旅行除く n=	団体旅行除く			
				宿泊費	交通費	土産代	観光行動費
TOTAL	19,203	55,180	17,171	24,720	14,600	6,830	12,750
北海道	1,267	73,670	1,086	30,870	23,650	8,870	14,970
青森県	211	68,610	175	27,000	21,930	6,630	10,460
岩手県	177	50,230	150	25,920	15,270	5,560	9,550
宮城県	395	47,530	344	19,750	14,050	6,490	10,530
秋田県	169	53,870	132	22,880	11,670	7,450	10,760
山形県	200	48,200	162	22,720	13,260	5,190	7,960
福島県	352	39,700	313	21,740	9,560	5,100	7,540
茨城県	260	38,240	214	21,910	8,650	7,090	9,660
栃木県	582	44,240	522	23,590	8,110	6,200	9,450
群馬県	529	44,690	475	24,190	8,680	5,460	9,580
埼玉県	223	39,490	193	13,930	11,520	5,140	9,960
千葉県	812	63,460	748	31,210	12,490	9,100	18,590
東京都	1,488	58,680	1,337	19,790	18,460	8,240	16,960
神奈川県	948	47,280	877	25,350	9,680	6,160	10,840
新潟県	386	45,540	351	23,590	11,710	5,980	10,310
富山県	201	54,060	162	22,380	16,200	6,000	8,880
石川県	439	59,280	407	29,880	15,930	7,290	12,770
福井県	194	47,900	177	25,290	10,520	5,860	11,350
山梨県	349	48,500	305	27,520	9,030	6,530	9,830
長野県	782	52,930	730	26,400	12,010	5,740	12,040
岐阜県	322	43,460	287	23,380	9,550	5,650	9,510
静岡県	985	46,460	926	24,780	9,250	5,530	10,110
愛知県	496	42,970	460	16,840	12,840	6,070	10,010
三重県	442	50,040	415	25,450	10,260	5,610	10,390
滋賀県	177	40,170	163	19,600	9,980	5,220	8,990
京都府	778	64,000	695	26,000	18,350	7,480	15,360
大阪府	928	58,790	833	18,480	17,650	7,370	16,880
兵庫県	613	49,580	557	26,420	10,600	6,180	9,870
奈良県	180	43,180	163	20,630	12,100	4,760	10,870
和歌山県	321	60,170	296	29,780	10,930	6,350	13,740
鳥取県	124	48,620	109	22,830	13,580	5,850	10,120
島根県	146	60,610	129	28,540	21,490	5,860	10,510
岡山県	162	49,790	143	21,250	13,340	6,830	11,190
広島県	262	55,860	231	21,570	20,120	6,990	12,980
山口県	173	47,100	156	21,370	15,300	6,130	8,980
徳島県	90	44,660	77	17,820	14,620	6,330	11,000
香川県	145	45,550	131	19,110	13,170	6,580	10,760
愛媛県	172	61,080	153	28,570	14,210	6,730	11,170
高知県	147	60,220	112	27,410	17,020	7,370	14,860
福岡県	527	51,420	485	17,380	16,880	6,480	13,990
佐賀県	124	41,350	114	18,590	11,530	6,250	7,970
長崎県	291	59,540	252	25,970	16,480	5,960	13,180
熊本県	282	53,430	249	24,130	12,510	6,240	10,670
大分県	315	56,740	291	26,760	13,100	6,010	10,660
宮崎県	111	50,360	94	21,890	16,920	6,180	10,400
鹿児島県	219	62,220	181	23,630	18,630	6,700	11,900
沖縄県	593	109,650	501	45,490	35,960	11,600	24,080

※上位3地域を赤字

【都道府県別集計6】満足度

満足度をみると、満足した割合（「大変満足した」、「満足した」、「まあ満足した」割合の合計値）が最も高いのは徳島県で96.7%、次いで香川県（96.6%）、島根県（95.9%）となっている。

「大変満足した」割合は、沖縄県が47.0%で最も高く、次いで大阪府（42.1%）、北海道（40.6%）の順となっている。

図表3-7: 都道府県別宿泊観光旅行の満足度(満足した割合が高い順)

n=	%					%		
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大変満足した割合	満足した割合
TOTAL	19,203	36.0	38.4	19.3			36.0	93.7
徳島県	90	38.9	42.2	15.6			38.9	96.7
香川県	145	36.6	36.6	23.4			36.6	96.6
島根県	146	35.6	41.8	18.5			35.6	95.9
愛知県	496	34.3	42.9	18.5			34.3	95.8
長崎県	291	33.3	42.3	19.9			33.3	95.5
福岡県	527	40.4	35.3	19.7			40.4	95.4
北海道	1,267	40.6	36.9	17.8			40.6	95.3
兵庫県	613	34.4	39.3	21.5			34.4	95.3
佐賀県	124	35.5	36.3	23.4			35.5	95.2
高知県	147	34.7	40.1	20.4			34.7	95.2
鹿児島県	219	39.7	39.7	15.5			39.7	95.0
静岡県	985	34.4	38.7	21.9			34.4	95.0
滋賀県	177	25.4	43.5	26.0	5.1		25.4	94.9
沖縄県	593	47.0	35.2	12.5			47.0	94.8
新潟県	386	36.5	39.1	19.2			36.5	94.8
山口県	173	27.7	47.4	19.7			27.7	94.8
岐阜県	322	31.1	42.5	21.1			31.1	94.7
大分県	315	38.4	35.6	20.6	5.4		38.4	94.6
大阪府	928	42.1	31.8	20.6			42.1	94.5
奈良県	180	31.7	47.2	15.6			31.7	94.4
京都府	778	37.4	36.8	20.2			37.4	94.3
神奈川県	948	36.5	40.1	17.7			36.5	94.3
広島県	262	35.9	42.0	16.4			35.9	94.3
栃木県	582	30.4	41.6	22.3			30.4	94.3
愛媛県	172	33.7	41.3	19.2	5.2		33.7	94.2
富山県	201	39.8	38.8	15.4	6.0		39.8	94.0
石川県	439	36.4	38.3	19.1	5.2		36.4	93.8
青森県	211	36.0	36.5	21.3			36.0	93.8
岡山県	162	29.6	42.6	21.6			29.6	93.8
鳥取県	124	37.9	36.3	19.4	5.6		37.9	93.5
長野県	782	33.6	42.7	17.0	5.5		33.6	93.4
三重県	442	32.1	41.4	19.9	5.0		32.1	93.4
千葉県	812	39.5	36.8	16.9	5.4		39.5	93.2
群馬県	529	33.8	37.1	22.1			33.8	93.0
和歌山県	321	31.8	42.7	18.4			31.8	92.8
宮崎県	111	23.4	41.4	27.9	5.4		23.4	92.8
山梨県	349	34.7	41.3	16.6	5.2		34.7	92.6
東京都	1,488	38.3	35.8	18.2	6.9		38.3	92.3
宮城県	395	35.2	33.9	23.0			35.2	92.2
岩手県	177	33.3	43.5	15.3	6.8		33.3	92.1
熊本県	282	31.6	45.4	14.9			31.6	91.8
秋田県	169	33.1	41.4	17.2	5.3		33.1	91.7
茨城県	260	35.0	33.5	22.7	5.4		35.0	91.2
福井県	194	30.9	36.1	24.2	7.2		30.9	91.2
福島県	352	29.0	36.4	25.9	7.4		29.0	91.2
山形県	200	33.0	31.5	26.5	5.5		33.0	91.0
埼玉県	223	34.1	35.9	20.6	8.1		34.1	90.6

※5%未満は非表示、満足した割合が高い順に掲載

【都道府県別集計7】再来訪意向

再来訪意向をみると、再来訪意向ありの割合（「大変そう思う」、「そう思う」、「ややそう思う」の割合の合計値）が最も高いのは神奈川県で91.9%、次いで新潟県と滋賀県（ともに91.5%）となっている。

「大変そう思う」割合は、沖縄県が51.1%で最も高く、次いで大阪府（44.8%）、千葉県（44.7%）の順となっている。

図表3-8: 都道府県別再来訪意向(再来訪意向ありの割合が高い順)

n=	再来訪意向					割合(%)		
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大変そう思う割合	再来訪意向ありの割合
TOTAL	19,203	36.8	34.9	16.7	9.0		36.8	88.3
神奈川県	948	38.9	36.2	16.8	6.4		38.9	91.9
新潟県	386	40.2	31.9	19.4	6.7		40.2	91.5
滋賀県	177	25.4	46.9	19.2	6.2		25.4	91.5
福岡県	527	38.0	36.6	16.7	6.8		38.0	91.3
京都府	778	41.3	35.1	14.8	6.7		41.3	91.1
北海道	1,267	44.0	31.9	15.1	6.7		44.0	90.9
沖縄県	593	51.1	28.5	11.1	7.4		51.1	90.7
大分県	315	40.3	35.6	14.6	7.0		40.3	90.5
岩手県	177	33.3	42.9	13.6	6.2		33.3	89.8
千葉県	812	44.7	29.6	15.1	7.4		44.7	89.4
大阪府	928	44.8	32.0	12.5	8.7		44.8	89.3
長崎県	291	30.2	42.6	16.5	8.2		30.2	89.3
東京都	1,488	43.2	28.8	17.1	8.8		43.2	89.1
静岡県	985	35.8	36.4	16.9	8.5		35.8	89.1
兵庫県	613	32.0	41.4	15.7	8.8		32.0	89.1
群馬県	529	33.8	38.6	16.6	7.6		33.8	89.0
鹿児島県	219	33.8	39.3	16.0	9.1		33.8	89.0
山梨県	349	34.7	39.8	14.3	8.9		34.7	88.8
岐阜県	322	31.7	36.3	20.8	7.5		31.7	88.8
愛知県	496	35.9	33.3	19.4	9.7		35.9	88.5
香川県	145	36.6	35.9	15.9	9.0		36.6	88.3
奈良県	180	34.4	38.3	15.6	10.0		34.4	88.3
栃木県	582	31.8	36.9	19.6	7.4		31.8	88.3
佐賀県	124	30.6	43.5	13.7	7.3		30.6	87.9
山口県	173	27.2	38.7	22.0	11.0		27.2	87.9
愛媛県	172	30.8	37.8	19.2	11.0		30.8	87.8
長野県	782	35.4	35.5	16.8	9.7		35.4	87.7
富山県	201	32.3	36.8	18.4	8.5		32.3	87.6
和歌山県	321	35.8	33.0	18.7	9.7		35.8	87.5
高知県	147	36.1	35.4	15.6	10.9		36.1	87.1
秋田県	169	31.4	33.7	21.3	11.8		31.4	86.4
広島県	262	34.7	33.2	18.3	11.5		34.7	86.3
熊本県	282	29.8	42.2	14.2	9.2		29.8	86.2
宮城県	395	36.5	33.7	15.9	11.9		36.5	86.1
三重県	442	27.8	39.1	19.0	11.1		27.8	86.0
石川県	439	31.4	38.3	16.2	10.9		31.4	85.9
岡山県	162	27.2	41.4	16.7	11.7		27.2	85.2
茨城県	260	31.2	33.1	20.8	9.2		31.2	85.0
福島県	352	28.1	35.8	20.7	11.4		28.1	84.7
宮崎県	111	22.5	40.5	21.6	12.6		22.5	84.7
埼玉県	223	28.7	35.0	20.6	13.5		28.7	84.3
山形県	200	31.5	31.5	21.0	11.0		31.5	84.0
青森県	211	37.0	29.9	17.1	11.8		37.0	83.9
鳥取県	124	33.9	35.5	12.1	12.1		33.9	81.5
島根県	146	29.5	31.5	20.5	15.1		29.5	81.5
福井県	194	22.7	36.6	21.6	13.9		22.7	80.9
徳島県	90	26.7	32.2	18.9	16.7		26.7	77.8

※5%未満は非表示、再来訪意向ありの割合が高い順に掲載

4. 調査結果概要

表 1. 過去 1 年間の実態 — 宿泊観光旅行

項目	宿泊観光旅行の実態	
1) 参加率	37.8%	
2) 参加回数		
全体平均	1.04回	
参加者平均	2.75回	
3) 実施月	3月が 12.5%でピーク	
4) 目的地	県内	15.9%
	県外	83.5%
5) 出発した日	平日	38.5%
	土・日・祝	37.2%
6) 行動 (複数回答)	①自然の風景をみる	49.1%
	②温泉浴	37.3%
	③名所・旧跡をみる	31.3%
7) 主な行動	①温泉浴	21.0%
	②自然の風景をみる	15.2%
	③名所・旧跡をみる	11.8%
8) 同行者	①家族	55.8%
	②友人・知人	19.6%
	③自分ひとり	17.7%
9) 同行人数	①2～3人	58.5%
	②1人	18.4%
	②4～5人	16.1%
10) 利用交通機関 (複数回答)	①自家用車	46.6%
	②JR鉄道	38.1%
	③私鉄	16.5%
	④飛行機	14.1%
	⑤路線バス	13.0%
11) 宿泊施設	①ホテル	69.4%
	②旅館	20.2%
12) 宿泊数	平均 1.62泊	
13) 旅行費用		
総費用	55,180円	
宿泊費	24,720円 注) 旅行会社の募集団体	
交通費	14,600円 及び「職場、学校」	
土産の費用	6,830円 「地域宗教」の団体	
観光行動費	12,750円 を除く	

表 2. 過去 1 年間の宿泊旅行の実態

旅行の種類	参加率	参加回数 (全体平均)	参加回数 (参加者平均)
全体	46.5%	1.77回	3.80回
観光旅行	37.8%	1.04回	2.75回
出張などの商用	5.8%	0.27回	4.74回
帰省などの私用	11.0%	0.32回	2.87回
兼観光旅行	5.6%	0.14回	2.45回

表 3. 今後 1 年間の宿泊観光旅行の希望

1) 参加希望率	61.7%
2) 参加希望回数	2.32回
3) 希望季節	秋 33.6%、夏 27.1%
4) 希望宿泊数	2.04泊
5) 希望費用	総費用 46,400円 1泊あたり宿泊費 11,660円
6) 希望する旅行の種類	①温泉を楽しむ 42.0% ②食を楽しむ 27.5% ③寺社仏閣を楽しむ 22.1% ④季節の花々を楽しむ 21.5% ⑤リゾートライフを楽しむ 19.0%